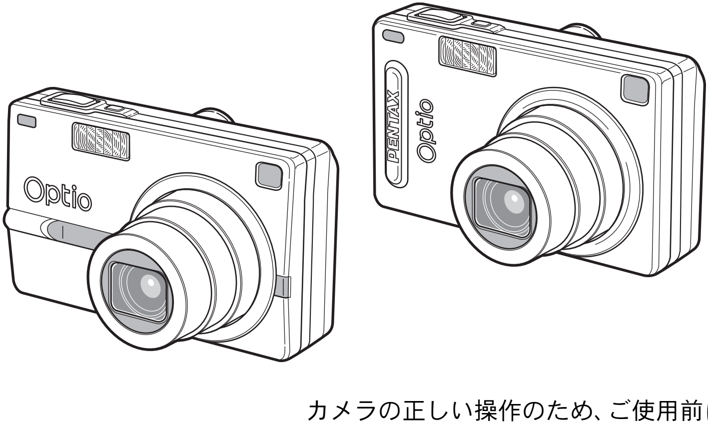
PENTAX

デジタルカメラ

Optio SV
Optio SVi

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。
本書は Optio SV・Optio SVi 共通となっています。操作説明などには Optio SV を使用しています。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III以前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ **警告** このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ **注意** このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

⚠ **警告**

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電スタンドとACアダプタについて

⚠ 警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、仕様を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電スタンドをお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電スタンドで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により撮影や再生、パソコン等への転送ができなかった場合、画像や音声など記録内容の保証については、ご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.22）をご覧ください。

- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニタが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

設定 140

付録 154

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影シーンに合わせた撮影モード画面の設定方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、直接プリンタにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

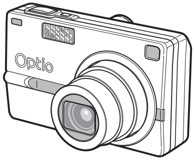
8 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

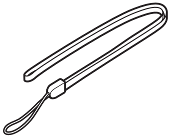
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

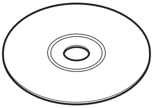
主な同梱品の確認



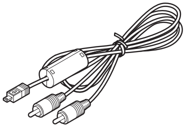
本体
Optio SV



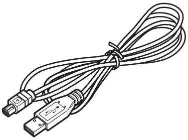
ストラップ
O-ST20（※）



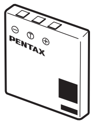
ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW23



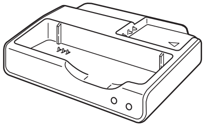
AVケーブル
I-AVC7（※）



USBケーブル
I-USB17（※）



充電式リチウム
イオンバッテリー
D-LI8（※）



バッテリー充電スタンド
D-BC23（※）

ACコード
D-C02J

使用説明書
（本書）

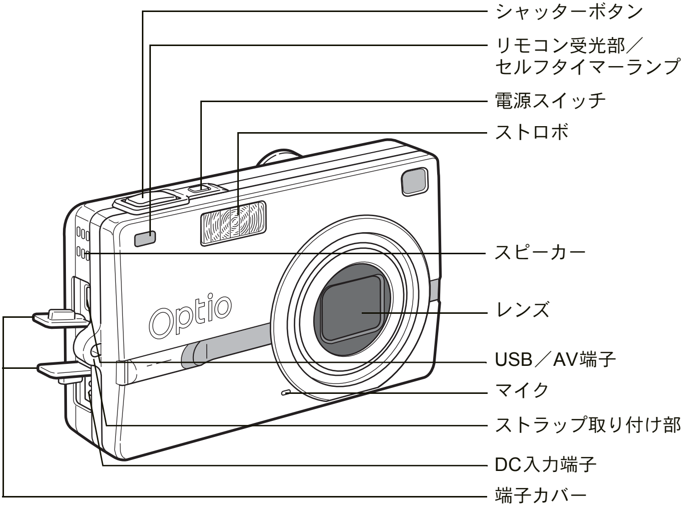
使用説明書
（PC活用編）

保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.155）をご覧ください。

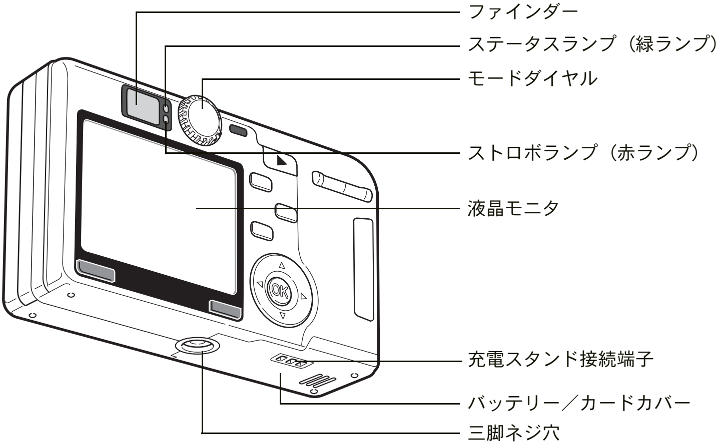
各部の名称

前面



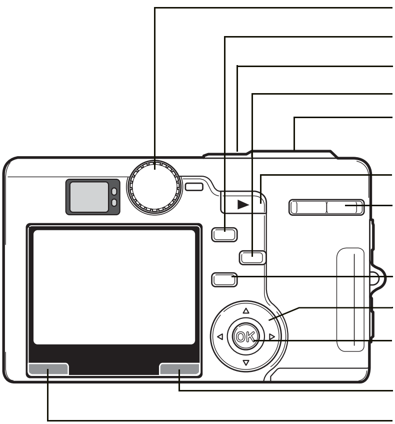
シャッターボタン
リモコン受光部／
セルフタイマーランプ
電源スイッチ
ストロボ
スピーカー
レンズ
USB／AV端子
マイク
ストラップ取り付け部
DC入力端子
端子カバー

背面



ファインダー
ステータスランプ（緑ランプ）
モードダイヤル
ストロボランプ（赤ランプ）
液晶モニタ
充電スタンド接続端子
バッテリー／カードカバー
三脚ネジ穴

操作部の名称

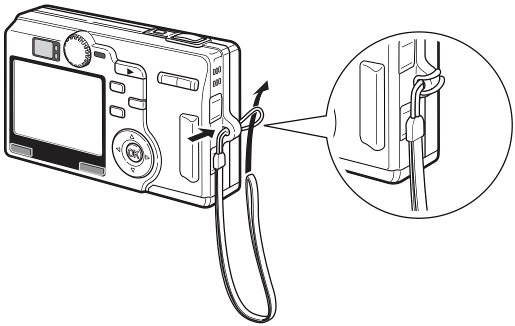


ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

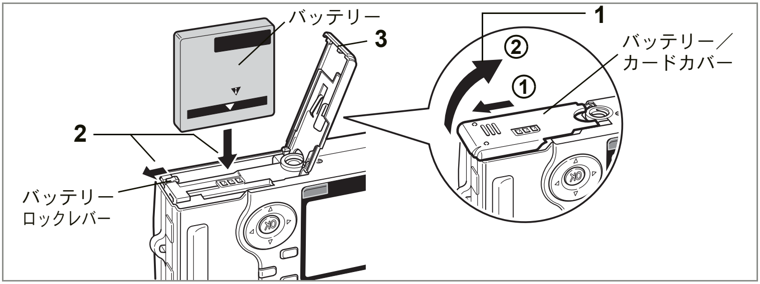
十字キー（▲）	▲		シャッターボタン	SHUTTER
十字キー（▼）	▼		ズーム/ / ボタン	
十字キー（◀）	◀		ボタン	
十字キー（▶）	▶		**OK**ボタン	OK
MENUボタン	MENU		**Fn**ボタン	Fn

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▲マークを液晶モニタ側に向けながらロックされるまで挿入する

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

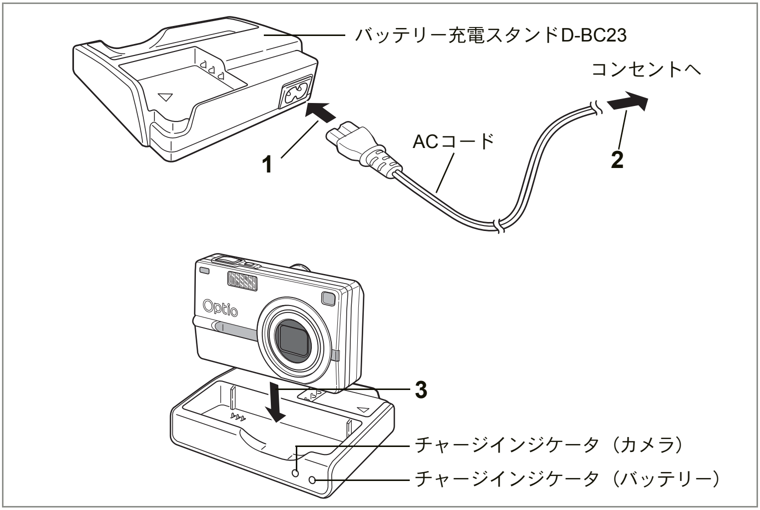
バッテリーを取り出す

1　バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に押す

バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

メモ　長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）をご使用ください。（p.19）

注意
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。



バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「電池容量が無くなりました」というメッセージが表示されたときは、付属のバッテリー充電スタンドD-BC23を使って充電してください。バッテリーをカメラに入れたままで充電できます。

1　バッテリー充電スタンドD-BC23にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

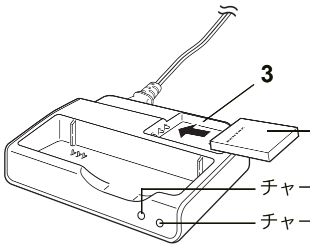
カメラにバッテリーを入れた状態で充電する場合

3　カメラを、バッテリー充電スタンドに載せる

カメラの電源をオフにして、ケースのくぼみにレンズが合うように載せます。充電するとき、充電スタンド内部のチャージインジケータは次のような情報をあらわします。

充電中	点灯
充電完了	消灯
電池の異常	点滅

4　充電終了後、バッテリー充電スタンドからカメラを取り外す



バッテリーだけを充電する場合

カメラからバッテリーを取り外して、バッテリーだけを充電することもできます。

3　バッテリーを「PENTAX」の文字が見えるようにセットする

充電中はチャージインジケータ（バッテリー）が赤色に点灯します。充電が完了すると、チャージインジケータ（バッテリー）が消灯します。

4　充電終了後、バッテリー充電スタンドからバッテリーを取り外す

メモ

- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーをカメラに入れた状態で充電するとき、バッテリー単体も同時にセットすることができます。予備のバッテリーなどがあるときに便利です。
  カメラとバッテリーをセットすると、チャージインジケータ（カメラ）とチャージインジケータ（バッテリー）が赤色に点灯します。カメラの充電が完了すると、チャージインジケータ（カメラ）が消灯し、バッテリーの充電が自動的に開始されます。バッテリーの充電が開始されると、チャージインジケータ（バッテリー）のみ赤色に点灯します。
- バッテリーだけを充電する場合は、バッテリー充電器キット K-BC8J（別売）も利用できます。

注意

- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーは、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 付属のバッテリー充電スタンドD-BC23では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電スタンドの破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点滅した場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

• 使用時間の目安（専用バッテリー D-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約100枚
（CIPA規格準拠、ストロボ使用率50％、液晶モニタオン、23℃）

再生時間　：約130分
（当社測定条件準拠）

- この数値は使用状況により異なります。

注意

- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• バッテリーの残量表示

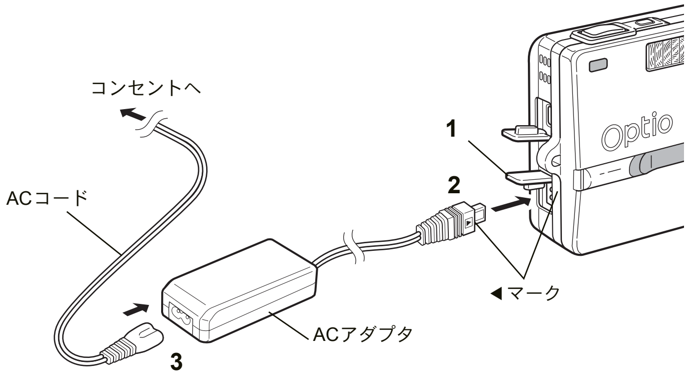
液晶モニタに表示された［バッテリー］で、バッテリーの残量を確認できます。

表示			
［バッテリー満］	（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓			
［バッテリー半分］	（黄点灯）	：	だいぶ減っています。
↓			
［バッテリー空］	（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓			
「電池容量が無くなりました。」		：	メッセージ表示後、電源オフとなります。

• **リサイクルについて**

Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　AC アダプタの DC 端子を、カメラの DC 入力端子に「◀」マークを合わせて接続する

3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

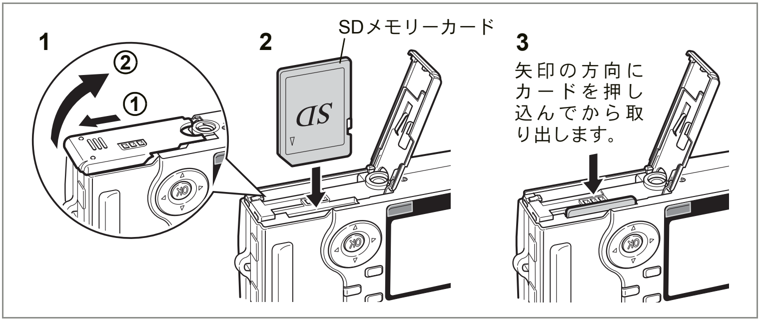
注意

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

バッテリー充電スタンドとACアダプタの使用上の注意

バッテリー充電スタンドやACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
バッテリー充電スタンドとACアダプタの仕様については、p.162をご覧ください。

SDメモリーカードをセットする



このカメラでは、SDメモリーカードが使用できます。撮影した画像や音声は、SDメモリーカードに記録されます。

注意

- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」(p.140)をご覧ください。

1 バッテリー/カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2 SDメモリーカードのラベル(▲印のある)面を液晶モニタ側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3 バッテリー/カードカバーを閉じる

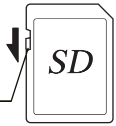
カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込みます。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

メモ

撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(☞p.23)

SDメモリーカード使用上の注意

- バッテリー／カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。



- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.140）をご覧ください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。

画像の記録サイズと画質の設定は、「📷撮影」メニューで行います。

FULLメニューの操作方法☞p.38

記録サイズを選択する☞p.88

画質を選択する☞p.90

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ		用途
2560×1920	鮮明・きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		はがきサイズプリント
640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

初期設定では、2560×1920が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

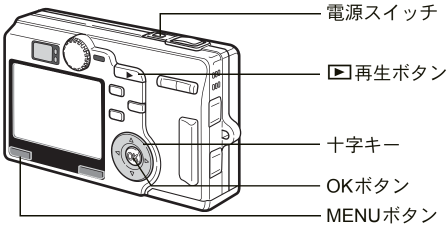
初期設定では、★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 (320×240)
2560×1920	約42枚	約66枚	約93枚	約158秒
2048×1536	約61枚	約95枚	約132枚	
1600×1200	約81枚	約127枚	約174枚	
1024×768	約132枚	約202枚	約274枚	
640×480	約192枚	約295枚	約349枚	

- 表の数値は、SDメモリーカード（64MB）を使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

初期設定をする



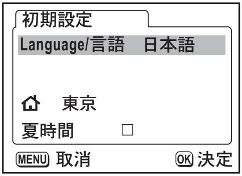
カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、
☞の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）］の画面が表示された場合
☞p.24、25「言語を設定する」「日時を設定する」
［日時設定］の画面が表示された場合
☞p.25「日時を設定する」

上記のような画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。



1　十字キー（▲▼）を押して、「Language/言語」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押して、言語選択画面を表示する

3　十字キー（▲▼）を押して、言語を選ぶ

4　OKボタンを押す

5　十字キー（▼）を押す

四角枠（選択枠）が⌂（現在地）に移動します。

6　十字キー（◀▶）を押して、「東京」を表示させる

7　十字キー（▼）を押す

8　十字キー（◀▶）を押して、☑を□に設定する

9　OKボタンを押す

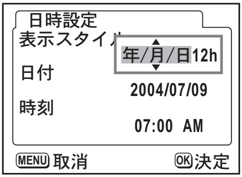
「日時設定」画面が表示されます。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▶）を押す

「年／月／日」の上下に▲▼が表示されます。



2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3　十字キー（▶）を押す

「12h」の上下に▲▼が表示されます。

4　十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

6　十字キー（▲▼）で日付を選ぶ

7　十字キー（▶）を押す

「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。

8　十字キー（▲▼）を押して、「西暦年」を設定する

9　手順7と8を繰り返して、「月」「日」を設定する

10　十字キー（▶）を押す

11　十字キー（▲▼）で時刻を選ぶ

12　十字キー（▶）を押す

「時間」の上下に▲▼が表示されます。

13　十字キー（▲▼）で「時間」を設定する

手順3で「12h」を選択したときは、時間調整に連動してAM/PMが切り替わります。

14　手順12と13を繰り返して、「分」を設定する

15　設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定したときはメニュー画面に戻りますので、MENUボタンを押してください。

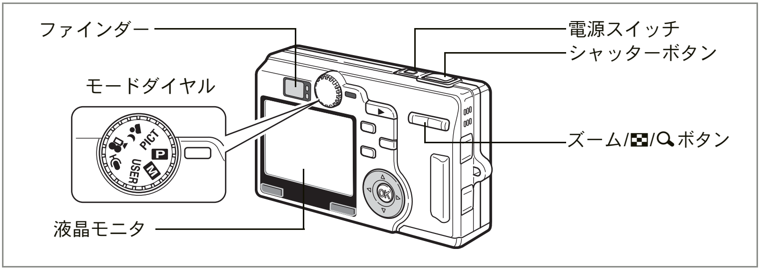
メモ

- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

注意

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日時を変更する」（p.145）をご覧ください。

静止画を撮影する



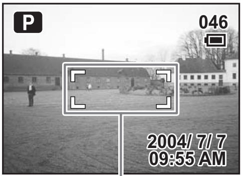
最も簡単な静止画の撮影方法を説明します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2　モードダイヤルを P に合わせる

3　液晶モニタを確認する



液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/⊞/🔍ボタンを押すと被写体の大きさが変わります。
♠ ：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。
ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することもできます。

メモ　フォーカスフレームはファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに1秒間表示（クイックビュー）されます。
撮影した画像はSDメモリーカードに保存されます（保存中はファインダー横の緑ランプと赤ランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置と露出がロックされます。半押しのとき、液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1. フォーカスフレーム

ピントが合うと緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

2. ステータスランプとストロボランプ

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ充電完了
点滅	ピントが合っていません	ストロボ充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、そのまま構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

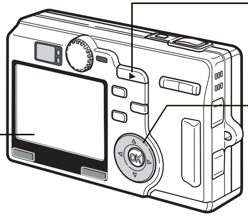
- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」の表示時間は、初期設定では1秒間に設定されています。クイックビュー表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。「消去」を選びOKボタンを押すと、その画像を消去することができます。（☞ p.117）
また、クイックビュー表示中にOKボタンを押すと、「ボイスメモ」により音声を録音することができます。

クイックビューの表示時間を設定する☞p.98

静止画を再生する



画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

拡大して再生する☞p.111

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

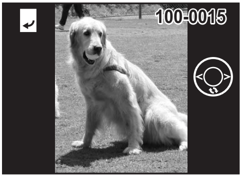
表示された画像を回転表示する

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

1回押すごとに、画像が時計回りに90°ずつ回転して表示されます。



メモ

- 回転している画像は、拡大再生できません。
- 画像を回転表示したまま、撮影モードまたはメニューに切り替えると、回転表示情報は保持されます。
- パソコンで作成したり、他のカメラで撮影したりした画像は、回転できません。

表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
シャッターボタンを半押しするか、モードダイヤルを回すと、撮影できる状態に戻ります。

ファイルNo.

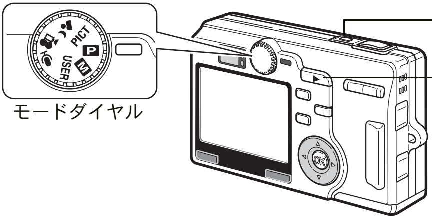
メモ

- 再生モードに切り替えると、最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム/▦/🔍ボタンで拡大して見ることができます。（回転表示画像は拡大できません）
- 画像が保存されていないときは、「画像・音声がありません」と表示されます。

画像・動画・音声を消去する☞p.117

メモ

電源をオン／オフする



1 電源スイッチを押す

レンズが繰り出されて撮影モードで起動します。
シャッターを押せばすぐに写真がとれる状態です。

- **▶ 再生ボタンを押すと、レンズが前に出たまま保存されている写真を見られる「再生モード」になります。**
- **▶再生ボタンを2秒以上押し続けると、レンズが収納された「再生モード」になります。**

2 もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになります。

撮影モードと再生モードを切り替える☞p.81

撮影する☞p.48

再生モードで電源をオンにする

画像を続けて再生するときは、レンズが収納された再生モードを使用します。

1 ▶再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

レンズは収納されたまま、再生モードで起動します。

レンズを収納した再生モードと撮影モードを切り替えるには以下の操作を行ってください。

レンズを収納した再生モード→撮影モード

- **再生ボタンまたはシャッターボタンを押す。**
- **モードダイヤルを回す。**

撮影モード→レンズを収納した再生モード

- **再生ボタンを2秒以上押し続ける。**
- **再生ボタンを押す（ボイスレコーディングモードの場合）**

静止画を再生する☞p.29

ボイスレコーディングモードで電源をオンにする

ボイスレコーディングモードは、レンズは収納されたままで音声のみを録音するモードです。
カメラをボイスレコーダーとして使用するときに利用します。

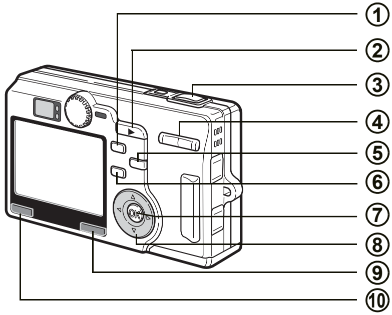
1 モードダイヤルを🎙に合わせてから電源をオンにする

レンズは収納されたまま、ボイスレコーディングモードで起動します。

メモ　ボイスレコーディングモードでモードダイヤルを回転すると、レンズが繰り出し、写真を撮影できる状態に変わります。

音声を録音する☞p.108

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

① **⚡ボタン**
ストロボの発光方法を切り替えます。(☞p.84)

② **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。もう一度押すと撮影モードに戻ります。(☞p.29)

③ **シャッターボタン**
半押し：AF、AEを調整およびロックします。
メニュー項目を決定したあと、撮影モードに移行します。
全押し：静止画／動画の撮影を開始または終了します。
メニュー項目を決定したあと、撮影モードに移行します。

④ **ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。(☞p.27)

⑤ **🌷▲ボタン**
被写体にピントを合わせる方法を次のように切り替えます。
マクロモード（☞p.85）　スーパーマクロモード（☞p.85）
遠景モード（☞p.85）　マニュアルフォーカスモード（☞p.86）
AFエリア移動モード（☞p.87）

⑥ **⏱ ▯ ボタン**
撮影方法（ドライブモード）を次のように切り替えます。
セルフタイマー（☞p.70）　連続撮影（☞p.71）
オートブラケット撮影（☞p.74）インターバル撮影（☞p.76）
リモコン撮影（☞p.72）

⑦ OKボタン

液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞p.82）
メニュー項目を決定します。

⑧ 十字キー（◀▶）

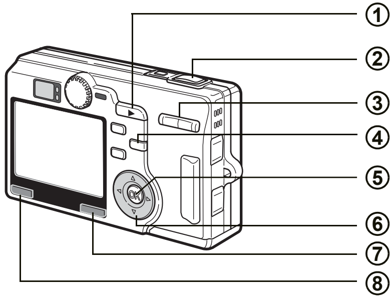
露出補正値を設定します。

⑨ Fnボタン

Fn機能設定画面に移行します。

⑩ MENUボタン

「📷撮影」「▶再生」「🔧詳細設定」のメニューを表示します。（☞p.38）



再生モード時

① **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。

② **シャッターボタン**
半押し： 撮影モードに移行してAF、AEを調整およびロックします。
全押し： 撮影モードに移行して静止画／動画を撮影します。

③ **ズーム/⊞/🔍ボタン**
通常再生時に⊞を押すと、一度に9画像を表示します。（☞p.115）
拡大再生時には、液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。

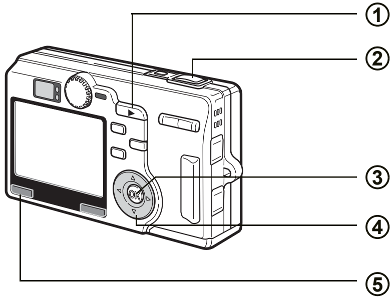
④ **🗑ボタン**
再生中の画像を消去します。

⑤ **OKボタン**
画面情報を次のように変更します。（☞p.82）
静止画・動画：標準情報、標準情報＋ヒストグラム、情報表示なし
音声：　　　標準情報、情報表示なし
メニュー項目を決定します。

⑥ **十字キー**
（▲）動画とボイスメモを再生します。（☞p.109、p.113）
（◀▶）前後の画像を表示します。（☞p.29）
（▼）画像を回転して表示します。（☞p.30）
再生中の動画とボイスメモを停止します。

⑦ **Fnボタン**
Fn機能設定画面に移行します。

⑧ **MENUボタン**
「📷撮影」「▶再生」「🔧詳細設定」のメニューを表示します。（☞p.38）



ボイスレコーディングモード時

①　▶再生ボタン
再生モードに切り替えます。（☞p.33）もう一度押すと録音モードに戻ります。

②　シャッターボタン
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
１秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

③　OKボタン
画面情報を次のように変更します。
標準情報、情報表示なし

④　十字キー（再生モード時）
（▲）再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。
（◀▶）再生中は、次の動作をします。再生前は録音したファイルを選びます。
　　再生中に（◀）を押すと約5秒戻ります。
　　再生中に（▶）を押すと約5秒進みます。

⑤　MENUボタン
録音待機中、録音再生前に押すと、「▶再生」、「🔧詳細設定」のメニュー項目を表示します。（☞p.38）

メニューを操作する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。
メニューには、よく使う機能を簡単に設定できるSIMPLEメニューと、すべての機能を設定できるFULLメニューの2種類があります。本書では、メニュー操作の説明にFULLメニュー画面を使用しています。

FULLメニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1 MENUボタンを押す

撮影モードでは「📷撮影」メニューが表示され、再生モードでは「▶再生」メニューが表示されます。
選択されている部分は四角い選択枠で表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押す

メニュー画面が切り替わります。

3 十字キー（▲▼）で項目を選択する

選択枠が上下に移動します。

4 選択した項目の設定を変更する

設定を変更するには以下の3つの方法があります。

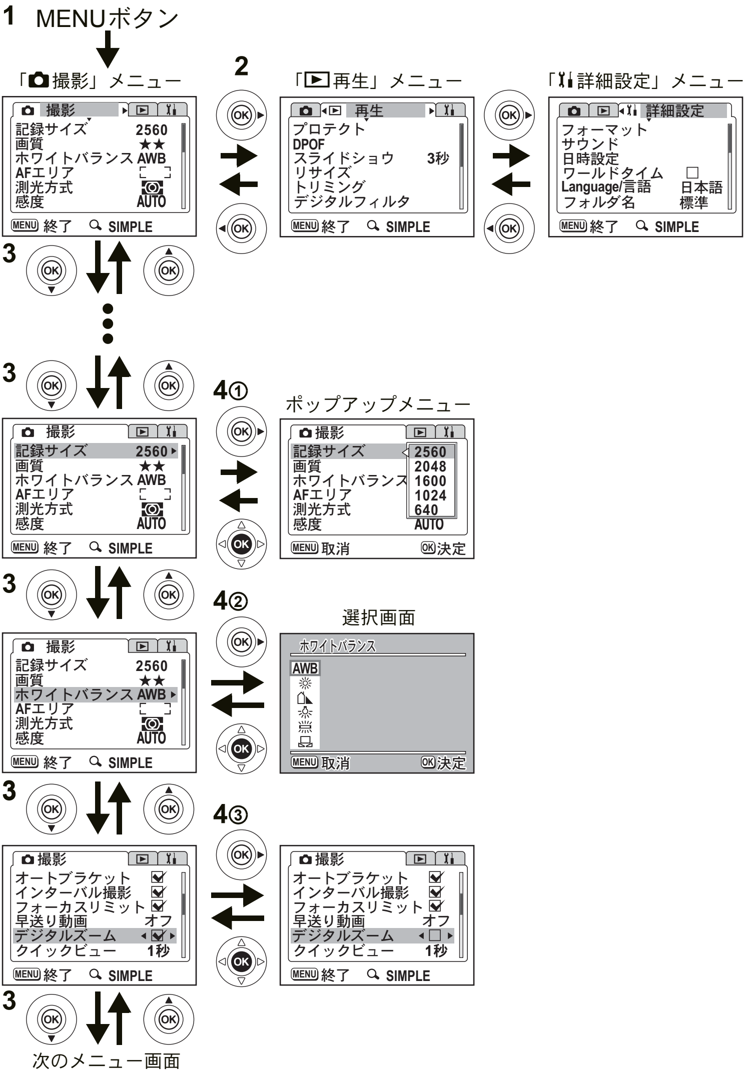
① **十字キー（▶）を押して表示される項目から設定を選んで変更する（ポップアップメニュー式）**
設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

② **十字キー（▶）を押して、別の選択画面に移行して設定を変更する**
設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

③ **十字キー（◀▶）を押して、設定を変更する**

5 MENUボタンを押す

設定が保存され、撮影または再生できる状態になります。


1 MENUボタン
「撮影」メニュー
2
「再生」メニュー
「詳細設定」メニュー
撮影
記録サイズ 2560
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AFエリア
測光方式
感度 AUTO
MENU 終了 SIMPLE
再生
プロテクト
DPOF
スライドショウ 3秒
リサイズ
トリミング
デジタルフィルタ
詳細設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語 日本語
フォルダ名 標準
3
4①
ポップアップメニュー
2560
2048
1600
1024
640
MENU 取消 OK 決定
4②
選択画面
ホワイトバランス
4③
オートブラケット
インターバル撮影
フォーカスリミット
早送り動画 オフ
デジタルズーム
クイックビュー 1秒
次のメニュー画面

メモ

手順4でOKボタンを押さずに以下の操作を行うとメニュー画面に戻らずに、設定を保存して撮影または再生できる状態になります。

撮影できる状態にする	シャッターボタンを半押しする、シャッターボタンを全押しする、モードダイヤルを回す
再生できる状態にする	再生ボタンを押す
撮影または再生できる状態にする	すべての設定を終了したあとにFnボタン、⚡ボタン、🌷▲ボタン、⏲ ボタンのいずれかを押す

注意

- ①と②の選択画面で設定を変更するとき、MENU ボタンを押して選択画面を終了すると、設定は保存されません。
- OK ボタンを押してメニュー画面を終了しても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると、設定は保存されません。
- メニュー画面を表示させてから約1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。

FULLメニュー一覧

「撮影」メニュー

項目	内容	初期設定	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます。	2560×1920	p.88
画質	画像の圧縮率が選べます。	★★	p.90
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	AWB（オート）	p.92
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	〔 〕（マルチ）	p.94
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します。	（分割）	p.95
感度	感度を設定します。	AUTO	p.96
オートブラケット撮影	露出や彩度など撮影条件を自動的に変えて撮影します。	露出（±0.3）	p.74
インターバル撮影	設定した時間間隔で撮影します。	—	p.76
フォーカスリミット	通常撮影やマクロ撮影時のレンズ移動を制限するかしないかを切り替えます。	オン	p.97
早送り動画	動画撮影のフレームレートを設定します。	オフ	p.79
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます。	オン	p.68
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します。	1秒	p.98
立体視法	3D写真の鑑賞方法を設定します。	⇈（平行法）	p.62
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。	—	p.104
M	マニュアル露出モードに登録する撮影モードを設定します。	M	p.49
USER	ユーザーモードで登録する撮影モードを設定します。	P	p.54
ノイズリダクション	ノイズを軽減します。	オン	p.99
シャープネス	シャープネスを設定します。	標準	p.100
彩度	彩度を設定します。	標準	p.101
コントラスト	コントラストを設定します。	標準	p.102

「▶再生」メニュー

項目	内容	参照
プロテクト	画像・音声を消去できないようにします。	p.121
DPOF	プリントサービスの設定をします。	p.124
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.116
リサイズ	画像のサイズを変更します。	p.132
トリミング	画像の一部分を切り取ります。	p.134
デジタルフィルタ	撮影した画像を赤、青、緑などの画像フィルタを用いて加工します。	p.136
クイック拡大	ズーム/⊞/🔍ボタンを1回押すだけで画面を最大拡大倍率で再生するように設定します。	p.112
クイック消去	オンに設定すると「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。	p.118

「詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードを初期化します。	p.140
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.144
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.145
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.146
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.148
フォルダ名	画像などを保存するフォルダを切り替えます。	p.148
画面設定	起動画面、背景色、画面効果を設定します。	p.142
LCDの明るさ	液晶モニタの明るさを設定します。	p.141
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.149
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.149
スリープ	節電機能を設定します。	p.150
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.150
Fn設定	十字キー（▲▼◀▶）に撮影機能を登録します。	p.151
リセット	設定を初期値に戻します。	p.153

メモ

SIMPLEメニューの操作方法

SIMPLEメニュー画面にはよく使うメニューだけが表示されます。撮影モードでも再生モードでも同じメニューが表示されます。

1　MENUボタンを押す

FULLメニューが表示されます。撮影モードでは「撮影」メニューが表示され、再生モードでは「再生」メニューが表示されます。

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

SIMPLEメニューが表示されます。
選択されている部分は四角い選択枠で表示されます。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

選択枠が上下に移動します。

4　選択した項目の設定を変更する

設定を変更するには以下の2つの方法があります。

① **十字キー（▶）を押して表示される項目から設定を選んで変更する（ポップアップメニュー式）**

② **十字キー（▶）を押して別の選択画面に移行して設定を変更する**

設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

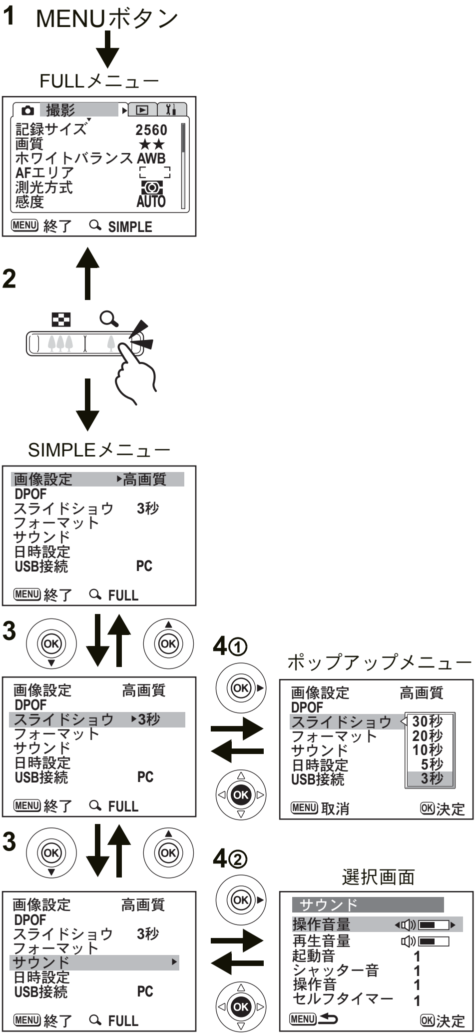
5　MENUボタンを押す

設定が保存され、撮影または再生できる状態になります。

FULLメニューに戻る

1　ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押す

FULLメニューが表示されます。


1 MENUボタン
FULLメニュー
撮影
記録サイズ 2560
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AFエリア
測光方式
感度 AUTO
MENU 終了 SIMPLE
2
SIMPLEメニュー
画像設定 高画質
DPOF
スライドショウ 3秒
フォーマット
サウンド
日時設定
USB接続 PC
MENU 終了 FULL
3
OK
4①
ポップアップメニュー
画像設定 高画質
DPOF
スライドショウ
30秒
20秒
10秒
5秒
3秒
フォーマット
サウンド
日時設定
USB接続
MENU 取消
OK 決定
4②
選択画面
サウンド
操作音量
再生音量
起動音 1
シャッター音 1
操作音 1
セルフタイマー 1
MENU
OK 決定

3 機能共通操作

メモ

- メニューの表示状態は、カメラの電源をオフにしたり、撮影または再生モードに移行したりしても保存されます。SIMPLEメニューを表示した状態でカメラの電源をオフにしたり、撮影または再生モードに移行したりしたあとでMENUボタンを押すとSIMPLEメニューが表示されます。
- SIMPLEメニュー表示に設定されているときでも、インターバル撮影とオートブラケット撮影は可能です。（いずれの場合も、オフにしていないとき）

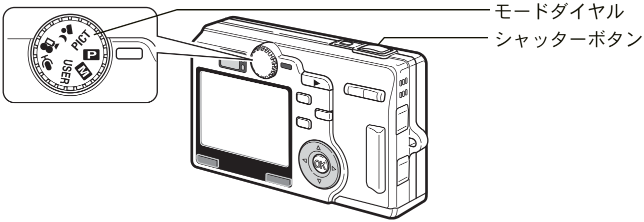
注意

- OKボタンを押して設定を保存する前にMENUボタンを押してメニュー画面を終了すると、設定は保存されません。
- OK ボタンを押してメニュー画面を終了しても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフにすると、設定は保存されません。
- 設定の途中で、FULLメニューとSIMPLEメニューを切り替えることはできません。設定を終了し、すべての選択画面が閉じた状態で、切り替えの操作を行ってください。
- SIMPLE メニュー表示中、SIMPLE メニューに含まれない項目は、初期設定に戻ります（Language/言語、フォルダ、起動画面、画面効果、LCDの明るさ、ビデオ出力、ワールドタイムは除く）。FULLメニューに戻ると、SIMPLEメニュー表示直前の設定に戻ります。
- SIMPLEメニューで画像設定をしても、FULLメニューの設定には反映されません。
- USERモードでは、SIMPLEメニューを表示できません。

SIMPLEメニュー一覧

項目	内容	参照
画像設定	画質を簡単に設定できます。	p.91
DPOF	プリントサービスの設定をします。	p.124
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します。	p.116
フォーマット	SDメモリーカードを初期化します。	p.140
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.144
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.145
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.149

撮影する



機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1 モードダイヤルをPに合わせる

2 必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.81～p.103）をご覧ください。

3 シャッターボタンを半押しする

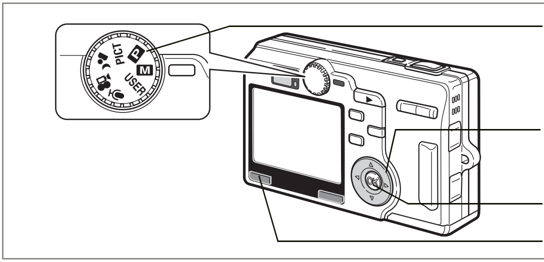
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを押す

撮影されます。

メモ
ユーザーモードにプログラムモードをあらかじめ設定しておくと、モードダイヤルをUSERに合わせるだけで、プログラムモード設定画面が表示されます。

静止画を撮影する☞p.27



マニュアルで設定して撮影する（マニュアル露出モード）

シャッター速度と絞り値を手動で設定して撮影します。

1 「撮影」メニューのMを選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）を押してMを選ぶ

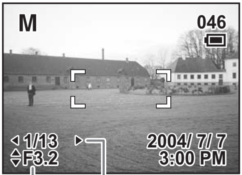
3 OKボタンを押してから、MENUボタンを押す

4 モードダイヤルをMに合わせる

Mモードで撮影できる状態になります。

5 十字キーでシャッター速度と絞り値を設定する

◀シャッター速度が速くなります。
▶シャッター速度が遅くなります。
▲絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。
▼絞りが絞られ（絞り値が大きくなり）ます。



設定したシャッター速度と絞り値の組み合わせが適正露出でない場合は、警告が表示されます。適正露出になると警告は消えて表示されません。

（点灯）	適正露出との差が－2.0EV～－0.3EVの場合は、＋0.3EV～＋2.0EVの場合はが点灯し、数値が表示されます。
（点滅）	－2.0EVを超える露出アンダーの場合は、+2.0EVを超える露出オーバーの場合はが点滅します。
（点灯）	測光不能の場合は点灯します。

6 シャッターボタンを押す

設定したシャッター速度と絞り値で撮影されます。

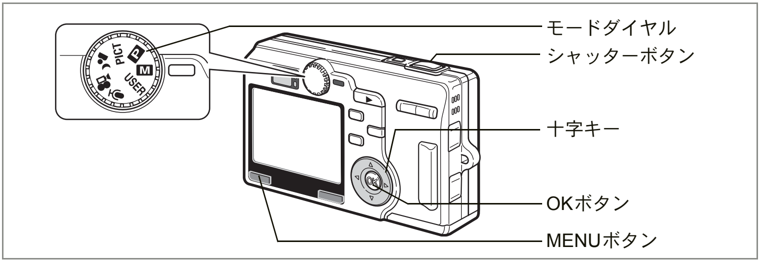
静止画を撮影する☞p.27

メモ

- シャッター速度と絞り値は、電源をオフにしても保存されます。
- 「📷撮影」メニューの「USER」または M であらかじめ「M」を選択しておくと、モードダイヤルをUSERまたは M に合わせるだけで、マニュアル露出モードで設定、撮影できる状態になります。

注意

- このモードでは、露出補正はできません。
- マニュアル露出モードでは、感度とストロボをオートに設定できません。
- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」あるいは「AFエリア移動モード」に設定している場合は、OKボタンを押すことで、十字キーの機能をピント合わせあるいはAFエリア移動操作に切り替えることができます。もう一度押すとシャッター速度と絞りの操作に戻すことができます。



シャッター速度を設定して撮影する（シャッター優先モード）

シャッター速度はマニュアルで設定し、絞り値はカメラが自動的に設定して撮影します。

1　「撮影」メニューのMを選び、十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▲▼）を押してTvを選ぶ

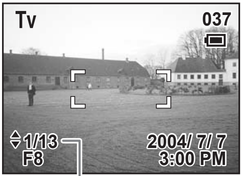
3　OKボタンを押してから、MENUボタンを押す

4　モードダイヤルをMに合わせる

シャッター優先モードで撮影できる状態になります。

5　十字キー（▲▼）を押してシャッター速度を設定する

▲シャッター速度が遅くなります。
▼シャッター速度が速くなります。



6　シャッターボタンを押す

撮影されます。

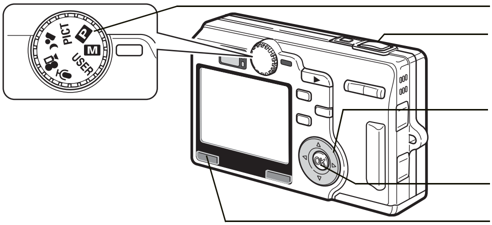
静止画を撮影する☞p.27

メモ

- シャッター速度は電源をオフにしても保存されます。
- 「撮影」メニューの「USER」またはMであらかじめ「Tv」を選択しておくと、モードダイヤルをUSERまたはMに合わせるだけで、シャッター優先モードで設定、撮影できる状態になります。

注意

- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」あるいは「AFエリア移動モード」に設定している場合は、OKボタンを押すことで、十字キーの機能をシャッター速度操作とピント合わせあるいはAFエリア移動操作に切り替えることができます。（OKボタンを押すたびに切り替わります。）
- シャッター優先モードでは感度とストロボをオートに設定できません。



絞り値を設定して撮影する（絞り優先モード）

絞り値はマニュアルで設定し、シャッター速度はカメラが自動的に設定して撮影します。

1　「📷撮影」メニューの[M]を選び、十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▲▼）を押してAvを選ぶ

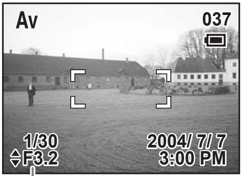
3　OKボタンを押してから、MENUボタンを押す

4　モードダイヤルを[M]に合わせる

絞り優先モードで撮影できる状態になります。

5　十字キー（▲▼）を押して絞り値を設定する

▲絞りが開き（数値が小さくなり）ます。
▼絞りが絞られ（数値が大きくなり）ます。



絞り値

6　シャッターボタンを押す

撮影されます。

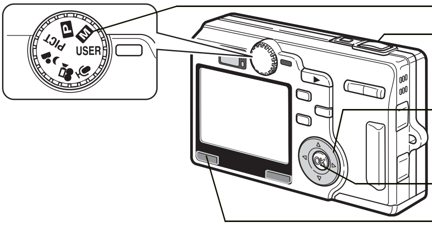
静止画を撮影する☞p.27

メモ
- 絞り値は電源をオフにしても保存されます。
- 「📷撮影」メニューの「USER」または[M]であらかじめ「Av」を選択しておくと、モードダイヤルをUSERまたは[M]に合わせるだけで、絞り優先モードで設定、撮影できる状態になります。

4 撮影

注意

- フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」あるいは「AFエリア移動モード」に設定している場合は、OKボタンを押すことで、十字キーの機能を絞りの操作とピント合わせあるいはAFエリア移動操作に切り替えることができます。（OKボタンを押すたびに切り替わります。）
- 絞り優先モードでは感度をオートにできません。



機能を自由に設定して撮影する（ユーザーモード）

ユーザーモードでは、あらかじめユーザーモードに登録しておいた機能や設定で撮影をすることができます。

1　「◘撮影」メニューの「USER」を選び、十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▲▼）を押して撮影モードを選ぶ

登録できる撮影モードは「P」「M」「Tv」「Av」「◘（夜景）」です。

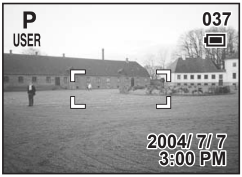
3　OKボタンを押してから、MENUボタンを押す

4　モードダイヤルをUSERに合わせる

設定されている撮影モードで撮影できる状態になります。

5　シャッターボタンを半押しする

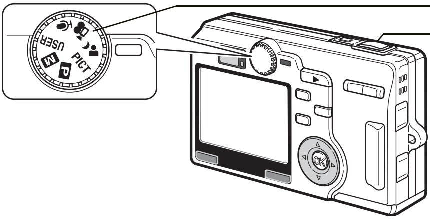
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。



6　シャッターボタンを押す

撮影されます。

ユーザーモードに機能を登録する☞p.106



暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンを適切な設定で撮影します。

1　モードダイヤルを に合わせる

2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを押す

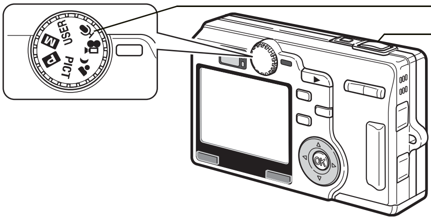
撮影されます。

メモ

- 夜景モードの撮影で、ノイズリダクションが働くと撮影後の画像の記録時間が長くなります。
- ユーザーモードに夜景モードをあらかじめ設定しておくと、モードダイヤルをUSERに合わせるだけで、夜景モードで撮影できる状態になります。

注意

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、カメラを三脚などに固定して撮影してください。



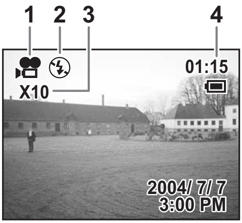
動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　モードダイヤルを🎥に合わせる

以下の撮影情報が液晶モニタに表示され、動画撮影が行える状態になります。

1 動画モードアイコン
2 発光禁止マーク
3 早送り動画倍率（オンの場合）
4 撮影可能時間



シャッターボタンを半押しするとピントが合います。

2　シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

♠ ：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。

3　シャッターボタンを押す

撮影を終了します。

注意　動画モードでは、「AFエリア移動」を行うことはできません。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

メモ

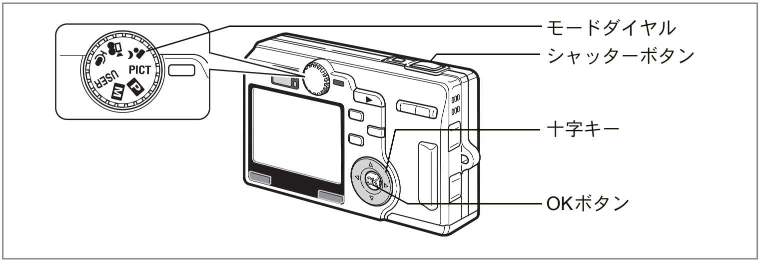
- 動画モードの記録サイズは「320×240」に固定されます。
- 動画の記録形式は約30fpsのAVI（Motion JPEG）です。
- セルフタイマーで動画の撮影を開始したときも、シャッターボタンを全押しすると録画を終了します。

注意

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影、ブラケット撮影、インターバル撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 早送り動画がオンのときは、音声の記録はできません。
- 動画モードで画像の大きさを変えられるのはデジタルズームのみです。デジタルズーム撮影時は、液晶モニタを使用してください。
- 撮影開始前であれば、光学ズームで画角を調整することができます。
- リモコンで動画の撮影を行う場合、ズームは使用できません。
- 撮影終了後は、撮影した動画をメモリーカードに書き込みます。このため次の動画を撮影できる状態になるまで多少待ち時間があります。
- 早送り動画が設定されていると、撮影した動画の記録時間が長くなります。このため次の動画を撮影できる状態になるまで多少待ち時間があります。

早送り動画を撮影する☞p.79

動画を再生する☞p.113



シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。ピクチャーモードには、次の12のモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
	セルフポートレート	自分撮りやツーショット写真をきれいに仕上げます。
	スポーツ	スポーツ写真をきれいに仕上げます。
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	紅葉	紅葉の写真をきれいに仕上げます。
	夕景	夕焼けや朝焼けの写真を美しく描写します。
	美術館	美術館の作品をきれいに仕上げます。
	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。
	3D	立体的に見える写真を撮影できます。
	パノラマ	パノラマ写真を作成できます。

1　モードダイヤルをPICTに合わせて、十字キー（▲▼）を押す

ピクチャーモード画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、撮影モードを選ぶ

例として（風景モード）を選択します。

3　OKボタンを押す

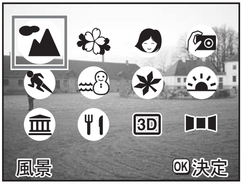
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

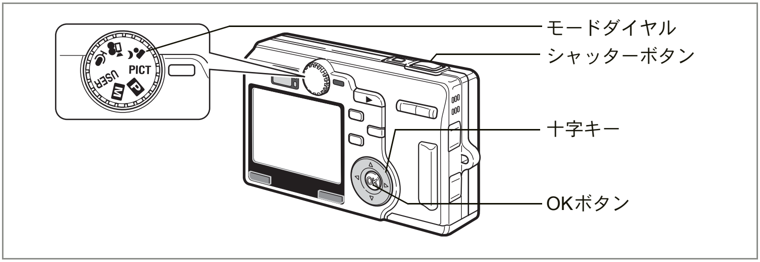
5　シャッターボタンを押す

撮影されます。

ピクチャーモード



メモ　ピクチャーモードでは、露出線図、露出補正、ホワイトバランス、シャープネス、彩度、コントラスト、ストロボが自動的に各モードの初期値に設定されます。（露出補正とストロボは設定値を変更できます。）



3D写真を撮影する（3D撮影モード）

横に並んだ2枚の写真を特殊な方法で見ると、立体的に見える3D写真を撮影できます。
3D写真を見る方法には、平行法と交差法があります。初期設定では平行法用の3D写真が撮影されます。平行法用に撮影した3D写真は、3Dイメージビュワー（別売）を使って見ることができます。
また、交差法用の3D写真を撮ることもできます。交差法での撮影への切り替えは、「立体視法を選ぶ」（p.62）を参照してください。

1　モードダイヤルをPICTに合わせて、十字キー（▲▼）を押す

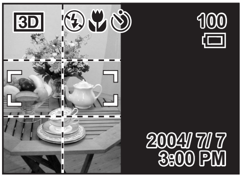
ピクチャーモード画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、3D（3D撮影モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

液晶モニタの左側に1枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

4　1枚目の画像を撮影する

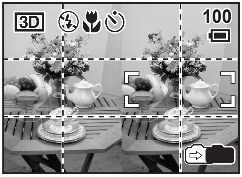


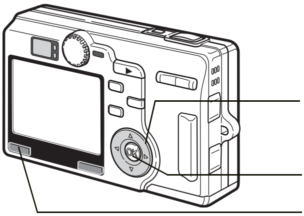
被写体が左側画面の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。液晶モニタの左側に撮った画像が表示され、右側に2枚目の画像を撮影するための画面が表示されます。

5　撮影姿勢を変えずに右に移動する

6　2枚目の画像を撮影する

被写体が画面右側の中央に入るようにしてシャッターボタンを押します。





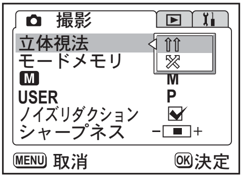
立体視法を選ぶ

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「立体視法」を選び、十字キー（▶）を押す

3　十字キー（▲▼）で ⇈（平行法）か ※（交差法）を選ぶ



3Dイメージビュワーで見るときは、⇈ を選択してください。
なお、⇈・※ ともに裸眼で楽しむこともできます。

4　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影モード画面に戻ります。

メモ

- 3D撮影を中止するときは、3D撮影モード以外のモードに切り替えてください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても3D画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の1/40程度が目安です。たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40=7.5cmとなります。立体感の見え方には個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

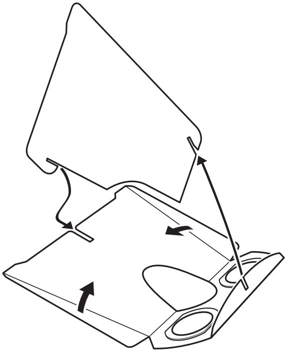
被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見え方を脳が処理することにより、立体的に見えます。この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。
3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには、多少の練習が必要になる場合があります。

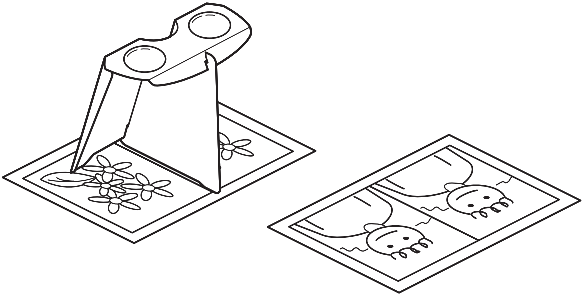
3Dイメージビュワーの組み立て方

別売の3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。



3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。



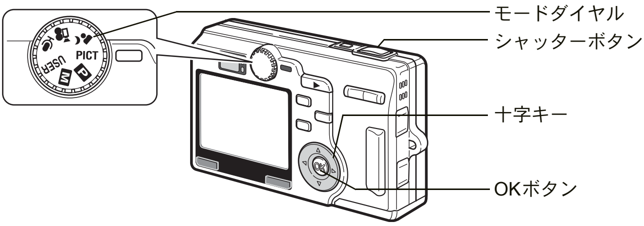
メモ

人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。

注意

- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3D イメージビュワーを直接日光の当たる場所に放置しないでください。火災の原因となる恐れがあります。

3D写真（平行法）の参考例



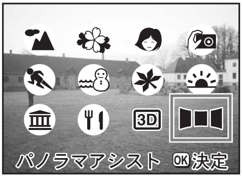
パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使って何枚かの写真をつなぎ合わせたパノラマ写真を簡単に作成できます。パノラマアシストモードを選択すると、あとでパノラマ写真合成が行いやすいように、画像の端と端が重なるように撮影することができます。

1　モードダイヤルをPICTに合わせて、十字キー（▲▼）を押す

ピクチャーモード画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、▮■▮（パノラマアシストモード）を選ぶ



3　OKボタンを押す

4　十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀画像を左につなぎます。
▶画像を右につなぎます。
▲画像を上につなぎます。
▼画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。

4 撮影

5　1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され､1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

6　カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する

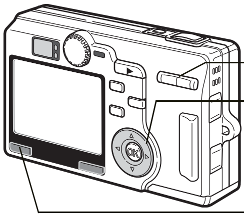
実画像表示が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。
3枚目以降の画像も、手順5、6を繰り返して撮影します。

7　OKボタンを押す

手順４の画面に戻ります。

パノラマ撮影を中止するには､パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX、ACD photostitcher）を使用します。パノラマ合成については、別冊の「デジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示するには」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。



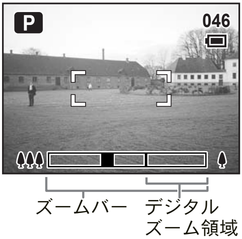
ズームを使って撮影する

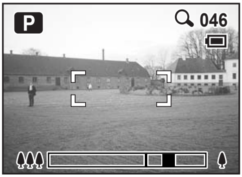
撮影する範囲の望遠／広角を調整し、被写体の大きさを変えて撮影できます。

1 撮影モードでズーム/⊞/🔍ボタンを押す

♠ 望遠：被写体が大きく写ります。
♠♠♠ 広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、5倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大20倍相当まで拡大して撮影できます。





デジタルズーム時

設定したズーム位置を保存する☞p.104

メモ　動画撮影中は、光学ズームは使用できません。

デジタルズーム機能をオフにする

1　撮影モードでMENUボタンを押す

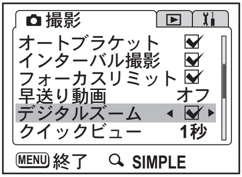
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で□（オフ）を選ぶ

4　MENUボタンを押す

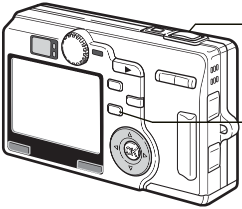
撮影できる状態になります。



注意：液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。

メモ：デジタルズームを使用するときは、液晶モニタで構図を合わせてください。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.104



セルフタイマーを使って撮影する

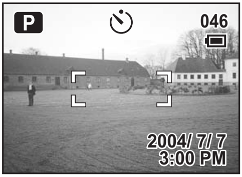
シャッターボタンを押してから、10秒後、または2秒後に撮影します。

1 撮影モードで⏲ ボタンを押して、液晶モニタに⏲または⏲2sを表示させる

2 シャッターボタンを押す

⏲ セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

⏲2s セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。



注意

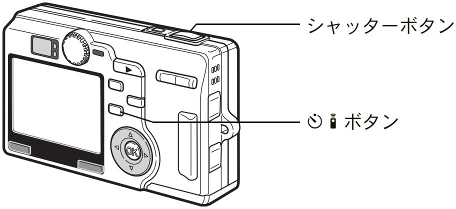
セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

メモ

- 液晶モニタをオンにすると、カウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に MENU ボタンなどいずれかのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。
- 3D撮影モードでは、1回目の撮影、2回目の撮影でそれぞれカウントダウンを行います。

セルフポートレートを撮影する☞p.58

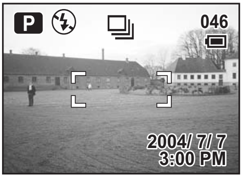
こんなときには「ピントが合わない」☞p.159



連続して撮影する（連続撮影）

ドライブモードを連続撮影に切り替えます。シャッターボタンを押している間、連続して撮影できます。

1　撮影モードで ⏲ ボタンを押して液晶モニタに ⧉ を表示させる



2　シャッターボタンを半押しする

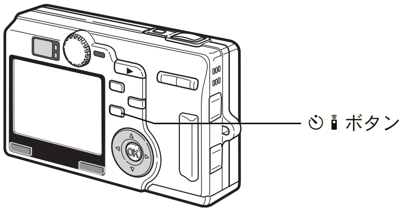
ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

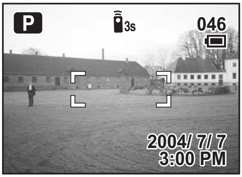
メモ
- SDメモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

注意
- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 3D 撮影モード、動画モード、パノラマアシストモードでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。



リモコンを使って撮影する（別売）

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って撮影します。



1　撮影モードで ボタンを押して、液晶モニタに 3s または を表示させる

セルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

2　リモコンのシャッターボタンを押す

3s　セルフタイマーランプが早く点滅し、約3秒後に撮影されます。
　すぐに撮影されます。

注意　セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

メモ
- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。

リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります）

リモコンでズームを使って撮影する

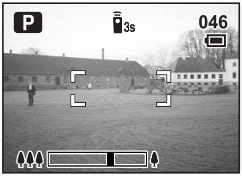
リモートコントロールE（別売）では、シャッターボタンによる撮影のほか、ズームボタンを使ってズーム倍率を変えることができます。

1 撮影モードで ボタンを押して、液晶モニタに または を表示させる

セルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

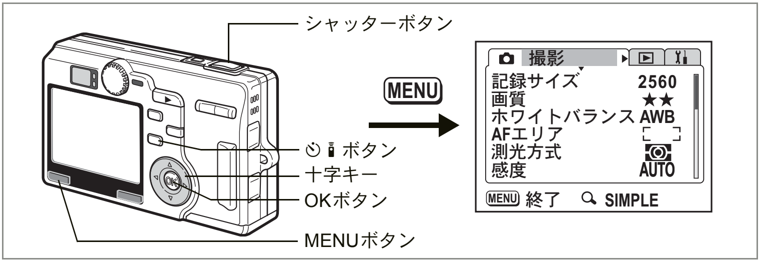
2 リモコンのズームボタンを押す

ズームバーが表示されます。ズームボタンを押すごとにズーム倍率が変更されます。



注意

- デジタルズームは、リモコンでは使用できません。
- 動画撮影中およびスーパーマクロモードでは、リモコンでズームを使用できません。



撮影条件を自動で変えて撮影する（オートブラケット）

露出、ホワイトバランス、シャープネス、彩度、コントラストの設定条件を自動的に3通りに変えて撮影します。

1 撮影モードで ボタンを押して、液晶モニタに を表示させる

初期設定では、「オートブラケット」はオンになっていますが、設定が変更されオフになっていると、 ボタンを押しても は表示されません。「撮影」メニューでオンにしてください。

2 シャッターボタンを押す

ブラケット撮影が行われます。
撮影が終わると、ブラケット撮影画面が表示されます。

注意

- 撮影した画像は再生モードで確認してください。
- ブラケット撮影の条件で露出を選ぶと、ストロボは発光しません。
- ブラケット撮影では、条件の設定値が「標準」の状態で最初に撮影されます。続けて「弱（−）」「強（+）」が撮影されます。
- ブラケット撮影では、ボイスメモは付けられません。
- 3Dでは、ブラケット撮影はできません。

4 撮影

撮影条件を設定する

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「オートブラケット」を選ぶ

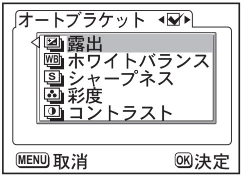
3　十字キー（▶）を押す

ブラケット設定画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替え、十字キー（▼）を押す

5　十字キー（▶）を押す

撮影条件の設定に移ります。



6　十字キー（▲▼）でブラケット撮影を行う条件を選び、OKボタンを押す

シャープネス、彩度、コントラストを選んだ場合は、手順**9**に進んでください。

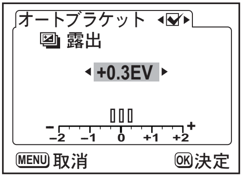
7　露出またはホワイトバランスの場合は十字キー（▼）を押す

「ステップ」の設定に移ります。

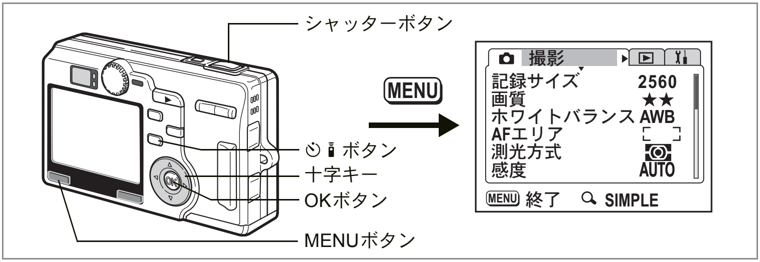
8　十字キー（◀▶）でステップを設定する

9　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

ブラケット撮影モードになります。



静止画を再生する ☞ p.29



設定した時間間隔で撮影する（インターバル撮影）

一定の時間間隔で静止画を自動的に撮影します。

1 撮影モードで ボタンを押して、液晶モニタに を表示させる

初期設定では、「インターバル撮影」はオンになっていますが、設定が変更されオフになっていると、 ボタンを押しても は表示されません。「 撮影」メニューでオンにしてください。

2 シャッターボタンを押す

下記の設定でインターバル撮影が始まります。

- 撮影間隔　　10秒
- 撮影枚数　　2枚
- 撮影開始時間　0分後

撮影が終了すると、カメラの電源が自動的に切れます。

4 撮影

メモ

- 撮影間隔は、10秒から4分までの間は1秒単位で、4分から99分までの間は1分単位で設定することができます。10秒以下に設定することはできません。
- 撮影枚数は、2枚から99枚の範囲で設定可能です。
- 撮影開始時間は、0分から23時間59分の間で1分単位で設定することができます。
- 撮影開始時間を0分後に設定すると、シャッターボタンを押してすぐに1枚目の画像が撮影されます。
- カメラが待機中に電源スイッチを押すと、液晶モニタに残り撮影枚数と撮影間隔が表示されます。このときにMENUボタンを押すと「インターバル撮影を中止しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押してインターバル撮影を中止することができます。
- SDメモリーカードの容量が足りなくなった場合には、インターバル撮影が終了しカメラの電源が自動的に切れます。

注意

- インターバル撮影では、ボイスメモは付けられません。
- 動画 連写 3D では、インターバル撮影はできません。

撮影間隔、撮影枚数、撮影開始時間を設定する

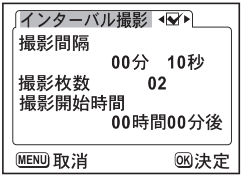
1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「インターバル撮影」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「インターバル撮影」メニューが表示されます。



4　十字キー（◀▶）で ☑（オン）／□（オフ）を切り替える

5　十字キー（▼）を押す

撮影間隔が選択されます。

6 撮影間隔を設定する

1. 十字キー（▶）を押す

「分」の上下に▲▼が表示されます。

2. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す

「秒」の上下に▲▼が表示されます。

3. 十字キー（▲▼）で秒を設定し、十字キー（▶）を押す

4. 十字キー（▼）を押す

選択枠が「撮影枚数」に移動します。

7 十字キー（▶）を押す

枚数の上に▲▼が表示されます。

8 十字キー（▲▼）で撮影枚数を設定し、十字キー（▶）を押す

9 十字キー（▼）を押す

選択枠が「撮影開始時間」に移動します。

10 撮影開始時間を設定する

1. 十字キー（▶）を押す

「時間」の上下に▲▼が表示されます。

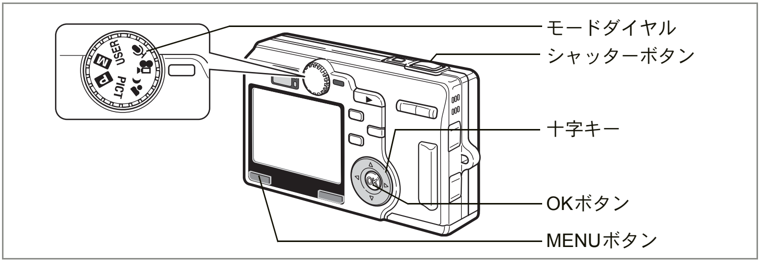
2. 十字キー（▲▼）で時間を設定し、十字キー（▶）を押す

「分」の上下に▲▼が表示されます。

3. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す

11 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

静止画を再生する ☞ p.29



早送り動画を撮影する

早送り動画を設定すると、動画撮影の際のフレームレート（1秒間に撮るコマ数）を少なくして動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせる

2 MENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して「早送り動画」を選び、十字キー（▶）を押す

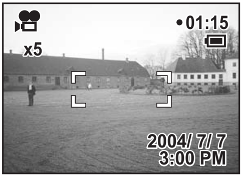
4 十字キー（▲▼）で「オフ」「×2」「×5」「×10」「×20」を切り替える

5 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを押す

早送り動画撮影が始まります。



4 撮影

メモ

- オフ（×1）は通常の動画設定です（毎秒30フレーム）。×2、×5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
- 動画再生は常に30フレーム毎秒ですので、×2で撮影したものは2倍に、×5で撮影したものは5倍の速さで早送り再生されるように見えます。
- 音声は録音されません。

動画を撮影する☞p.56

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

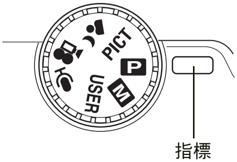
- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しで切り替えます。

撮影モードを選ぶ

撮影モード

P	プログラムモード	一般的な撮影に向いています。	p.48
M	マニュアルモード	シャッター速度と絞り値を手動で設定して撮影できます。また、Tv（シャッター優先）・Av（絞り優先）を割り当てることができます。	p.49
USER	ユーザーモード	各種の機能を設定しておくと、その設定で動作します。	p.54
	ボイスレコーディングモード	音声を記録します。	p.108
	動画モード	動画を撮影します。	p.56
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.55
PICT	ピクチャーモード	撮影するシーンに合わせた設定で撮影します。12種類のピクチャーモードが用意されています。	p.58

1 モードダイヤルを回して、指標に P M USER PICT のいずれかを合わせる



4 撮影

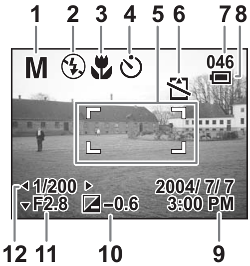
撮影情報を表示する

撮影モード時にOKボタンを押すと、現在の撮影条件などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

通常表示

電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

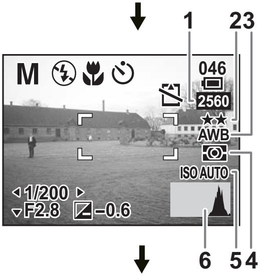
1 撮影モード	**2** ストロボモード
3 フォーカスモード	**4** ドライブモード
5 フォーカスフレーム	**6** カード警告
7 撮影可能残り枚数	**8** バッテリー
9 日時	**10** 露出補正値
11 絞り値	**12** シャッター速度



ヒストグラム表示

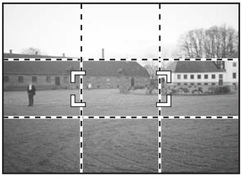
明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ	**2** 撮影画質
3 ホワイトバランス	**4** 測光方式
5 感度	**6** ヒストグラム



グリッド表示

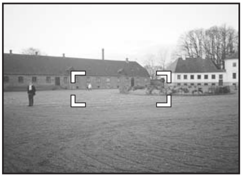
構図作成の目安となるグリッドを表示します。



情報表示なし

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。



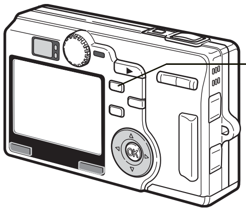
4 撮影

液晶モニタオフ
液晶モニタをオフにします。

注意
- 、3D、では、液晶モニタオフはできません。
- ボイスレコーディングモードでは、ヒストグラム表示、グリッド表示、情報表示なしはできません。

メモ
シャッターボタンやズームレバー操作を行った場合や各種設定変更（モードダイヤルの回転など）を行った際は、数秒間、液晶モニタに表示されます。

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.104



ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

(表示なし)	オート	暗い時や逆光の時に自動的にストロボを発光します。
(発光禁止アイコン)	発光禁止	暗い時や逆光の時でも発光しません。夕景撮影やストロボの使えない場所（美術館など）での撮影にご利用ください。
(強制発光アイコン)	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
(赤目軽減オートアイコン)	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
(赤目軽減強制発光アイコン)	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。

メモ

- 撮影モードが動画モード、スーパーマクロモード、連続撮影、遠景モード、またはオートブラケット（露出）に設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ発光の際、プリ発光（予備発光）の後、2回目の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と2回目の発光の間隔が長くなります）。

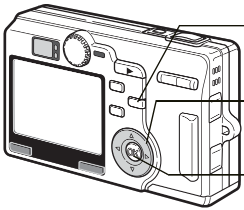
1 撮影モードで ボタンを押す

押すたびに発光方法が切り替わり、液晶モニタにアイコン表示されます。

設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ステータスランプとストロボランプの状態☞p.28

ストロボ発光方法を保存する☞p.104



フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。被写体までの距離が60cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約12cm～70cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
s🌷	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約3cm～14cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。
⊞	AFエリア移動モード	オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）の位置を変更します。

フォーカスモードを保存する☞p.104

1　撮影モードで🌷▲/🗑ボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、アイコンが液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影できる状態になります。

メモ

- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- 「スーパーマクロモード」では、ズームがワイド端に固定されます。
- 動画モード（☞p.56）および3Dモード（☞p.60）では、「AFエリア移動モード」は選択できません。
- 「スーパーマクロモード」と「遠景モード」では、ストロボは発光しません。
- フォーカスモードを変更しても、フォーカスリミットの設定は保持されます。

注意

フォーカスモードを「マクロモード」「スーパーマクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF（マニュアルフォーカスモード）に設定すると、画面中央に四角い枠が表示されます。十字キー（▲▼）を押すと、四角い枠が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。その後インジケータが表示されます。このインジケータを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

遠くにピントが合います。

近くにピントが合います。

インジケータ

フォーカス位置が決まったら、OKボタンを押すか、または十字キー（▲▼）から指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。

メモ

設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。

ピントの合う位置を変える

オートフォーカスモードでは、フォーカスフレームを移動させてピントの合う位置を変更することができます。

1　⊞（AFエリア移動モード）で十字キー（▲▼◀▶）を押す

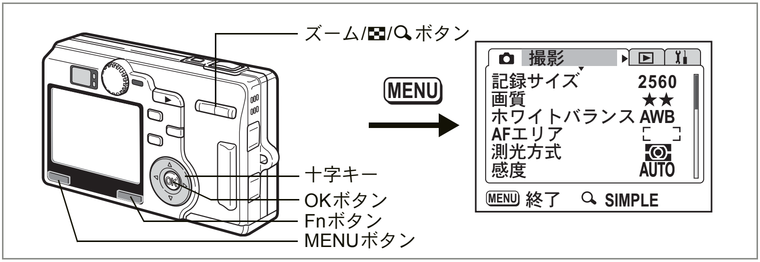
〔 〕（AFエリア）が移動します

2　OKボタンを押す

AFエリアが確定します。AFエリアを元の位置に戻すには、再度🌷▲🗑ボタンを押します。

こんなときは「ピントが合わない」☞p.159

メモ　AFエリア移動時は、画面情報は変更できません。



記録サイズを選択する

画像の記録画素数（記録サイズ）が選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.90）によっても異なります。

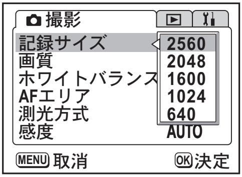
記録サイズ

記録サイズ	用途	
2560×1920	鮮明・きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
2048×1536		
1600×1200		
1024×768		はがきサイズプリント
640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.44）が表示されていたら、ズーム/▦/Qボタンの♠/Qを押してください。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す



3　十字キー（▲▼）を押して記録サイズを選ぶ

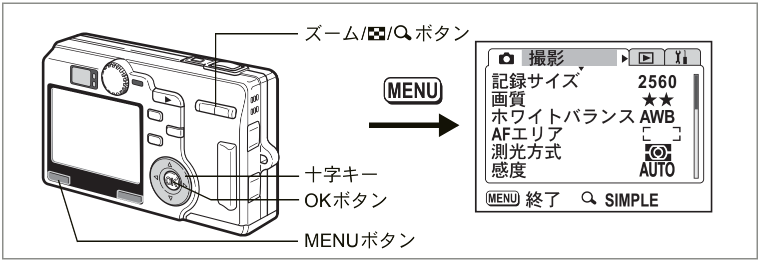
4　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ

- 「動画モード」では「320×240」に固定されます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.23



画質を選択する

画像の圧縮率（画質）が選べます。
★の数が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。なお、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.88）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、ホームページ作成用などに適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

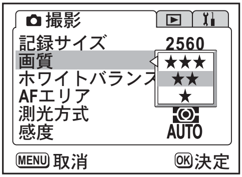
「撮影」メニューが表示されます。
SIMPLEメニュー（☞p.44）が表示されていたら、ズーム/⊡/Q ボタンの/Qを押してください。

2　十字キー（▲▼）を押して「画質」を選び、十字キー（▶）を押す

3　十字キー（▲▼）を押して画質を選ぶ

4　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。



メモ　画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

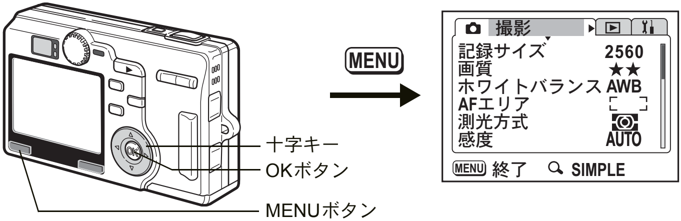
記録サイズと画質☞p.23

4 撮影

SIMPLEメニューでの設定

SIMPLEメニューでは、記録サイズと画質を組み合わせて「画像設定」として設定します。選択できるのは次の4種類です。

画像設定	記録サイズ	画質
最高画質	2560×1920	★★★
高画質	2560×1920	★★
標準画質	2048×1536	★★
メール画質	640×480	★★



ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて、画像を自然な色あいに調整する方法を選択します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
[日陰アイコン]	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
[白熱灯アイコン]	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
[蛍光灯アイコン]	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
[マニュアルアイコン]	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ：ストロボ発光時、ホワイトバランスは設定にかかわらず、ストロボ光に合わせて調整されます。

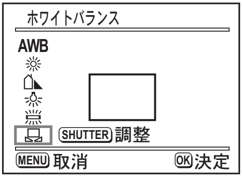
ホワイトバランスを保存する☞p.104

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1　ホワイトバランス選択画面で（マニュアル）を選ぶ

2　ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニタ中央の四角い枠いっぱいに表示されるよう、カメラを構える

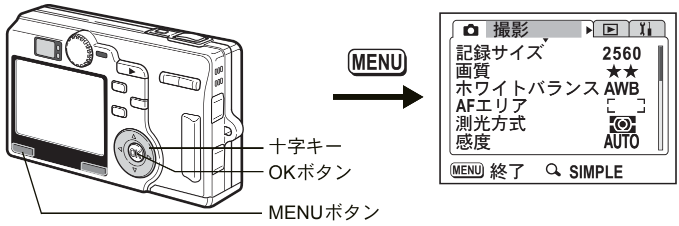


3　Fnボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。
調整中は、液晶モニタに「調整中」と表示されます。調整が終わると「完了」と表示され、ホワイトバランス選択画面に戻ります。

4　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。



オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

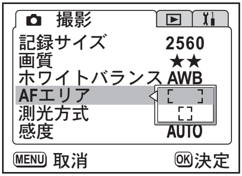
マルチ	通常範囲に設定します。
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選び、十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼）を押してAFエリアを選ぶ



4 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

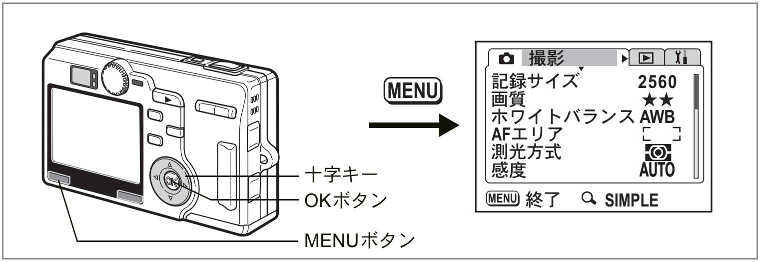
撮影できる状態に戻ります。

注意

AFエリアは、ファインダー内には表示されません。AFエリアを利用したピント合わせや、AFエリアの設定を行う場合は、必ず液晶モニタで確認してください。

AFエリアの設定を保存する☞p.104

4 撮影



測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

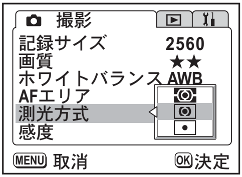
	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選び、十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼）を押して測光方式を選ぶ

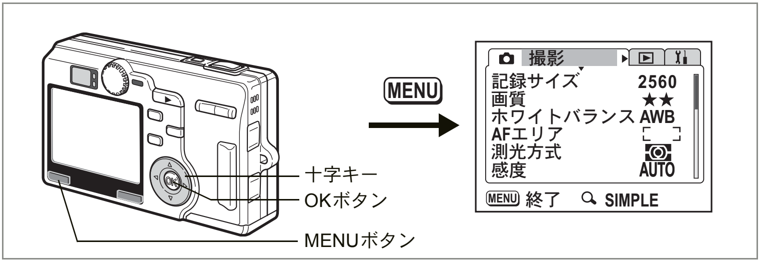


4 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　スポット測光では、AFエリア移動に連動して測光ポイントが移動します。（☞p.87）

測光方式を保存する☞p.104



感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定します。

感度

AUTO	設定をカメラにまかせます
50	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

1 撮影モードでMENUボタンを押す

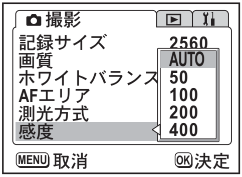
「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選び、十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼）を押して感度を選ぶ

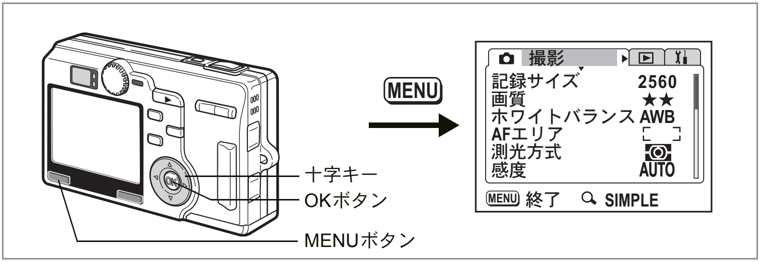
4 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。



メモ 「マニュアル露出モード」では、「オート」は選択できません。

感度を保存する☞p.104



フォーカスリミットを設定する

フォーカスリミットを☑（オン）にすると、通常撮影時は遠距離側に、マクロ撮影時には近距離側にレンズ移動が制限されますので、すばやいピント合わせが可能になります。
また、フォーカスリミットを□（オフ）にすると、ピント合わせの時間は長くなりますが、約12cm～∞までそのままで、ピントを合わせることができます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

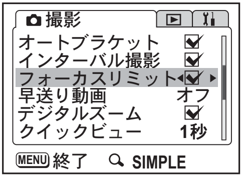
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「フォーカスリミット」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

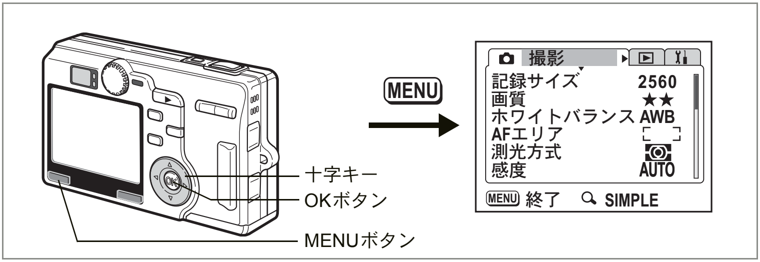
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



注意　フォーカスリミットが□（オフ）のときは、スーパーマクロ領域はピントが合いません。

4 撮影

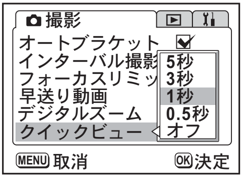


クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を0.5秒、1秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選択します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。



2 十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選び、十字キー（▶）を押す

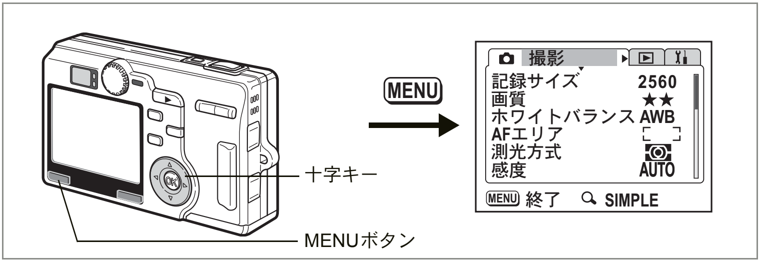
3 十字キー（▲▼）を押して表示時間を選ぶ

4 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影



ノイズリダクションを設定する

ノイズリダクションは、撮影後に画像からノイズを取り除く機能です。
・M・Tv・Avでのみ有効です。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

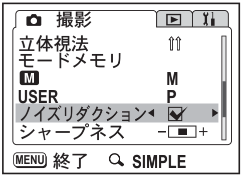
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ノイズリダクション」を選ぶ

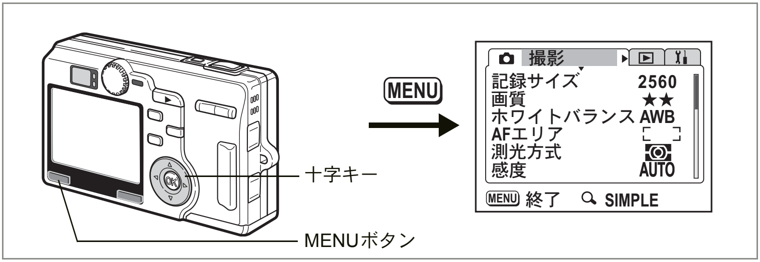
3　十字キー（◀▶）で ☑（オン）／□（オフ）を切り替える

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。



注意
- M・Tv・Avではシャッタースピード1/4秒から有効です。
- ノイズリダクション作動時は、処理時間を必要とする分、ノイズリダクションを行わないときの約2倍の時間がかかります。

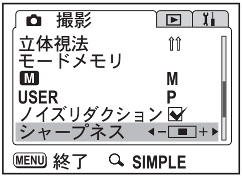


シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。



2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で（ソフト）（標準）（ハード）を切り替える

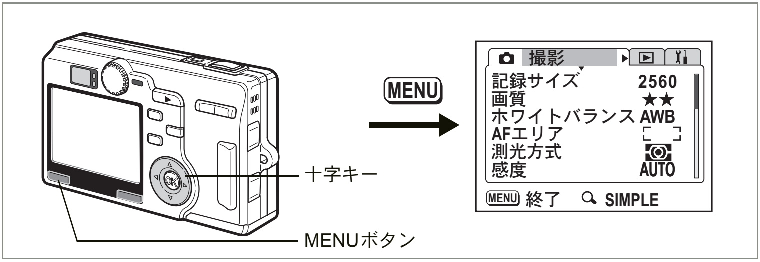
－側がソフト、＋側がハードになります。

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影



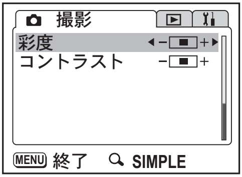
彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ



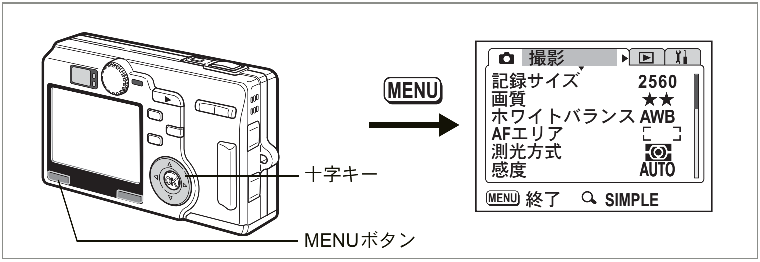
3　十字キー（◀▶）で （低） （標準） （高）を切り替える

－側が彩度が低く、＋側が彩度が高くなります。

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

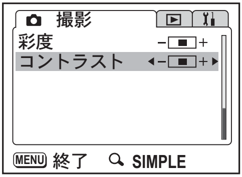


コントラストを設定する

画像内の明暗差を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。



2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

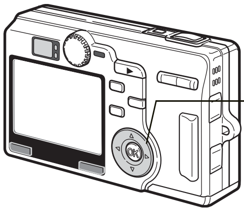
3　十字キー（◀▶）で（低）（標準）（高）を切り替える

－側がコントラストが低く、＋側がコントラストが高くなります。

4　MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。



露出を補正する

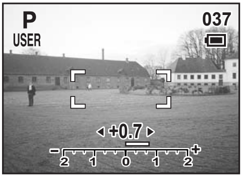
撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードで十字キー（◀▶）を押す

露出補正バーが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

明るくする場合は＋側に、暗くする場合は－側に設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。



選択してから0.5秒ほどで、撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する☞p.104

注意　「ヒストグラム表示」の場合は、露出補正バーは表示されません。

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにする際に、撮影のために設定した値を保存するかどうかを選びます。☑を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□を選ぶと、電源をオフにしたときに初期設定に戻ります。

項目	内容の登録方法	初期設定
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボの発光方法を保存します。	☑
ドライブモード	ボタンで選んだドライブモード（など）を保存します。	□
フォーカス方式	/ボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズーム//ボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
ホワイトバランス	「撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
AFエリア	「撮影」メニューの「AFエリア」での設定を保存します。	□
測光方式	「撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
露出	ズーム//ボタンで設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（オン／オフ）を保存します。	☑
ディスプレイ	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

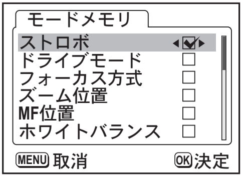
メモ

- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。
- 「モードメモリ」は、ユーザーモードとそれ以外の撮影モードで別々に設定することができます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ



3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

ユーザーモードに機能を登録する

撮影モードをUSERに合わせて撮影のための機能を設定すると、設定した撮影機能がユーザーモードに登録されます。

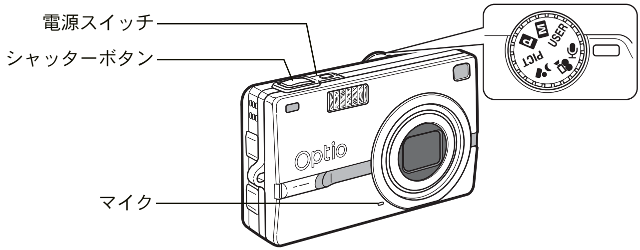
ユーザーモードに登録できる機能

ユーザーモードに登録できる項目	初期設定	参照
ストロボモード	オート	p.84
ドライブモード	標準	p.70~76
フォーカスモード	通常AF	p.85
MF位置	無限遠	p.86
液晶表示（撮影時）	標準情報	p.82
記録サイズ	2560×1920	p.88
画質	★★	p.90
ホワイトバランス	AWB（オート）	p.92
マニュアルホワイトバランス	－	p.92
AFエリア	マルチ	p.94
ズーム位置	ワイド端	p.68
測光方式	（分割）	p.95
感度	AUTO	p.96
露出補正	±0.0	p.103
オートブラケット	露出	p.74
インターバル撮影	－	p.76
フォーカスリミット	オン	p.97
早送り動画	オフ	p.79
デジタルズーム	オン	p.68
クイックビュー	1秒	p.98
立体視法	⇧⇧（平行法）	p.62
モードメモリ	すべてオン	p.104
ノイズリダクション	オン	p.99
シャープネス	標準	p.100
彩度	標準	p.101
コントラスト	標準	p.102
Fn機能	▲記録サイズ ▼画質 ◀ホワイトバランス ▶AFエリア	p.151

メモ

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

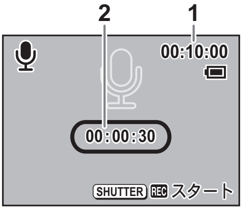


1 モードダイヤルを 🎙 に合わせて、電源スイッチを押す

液晶モニタに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間

2 録音時間



2 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプとストロボランプが点灯します。

3 シャッターボタンを押す

録音が終了します。

4 電源を切ってボイスレコーディングモードを終了する

メモ

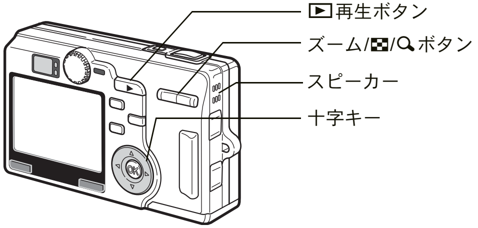
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- シャッターボタンを押し続けている間は録音され、ボタンを放すと録音終了します。

注意

ボイスレコーディングモードでは「▶再生」メニューと「詳細設定」メニューしか選択できません。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

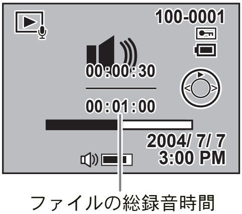


1　ボイスレコーディングモードで、▶再生ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

再生を開始します。



- **再生中にできる操作**

十字キー（▲）	一時停止する 再開するときは もう一度押す
十字キー（◀）	約5秒前に戻る
十字キー（▶）	約5秒先に送る
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

4　十字キー（▼）を押す

再生を停止します。

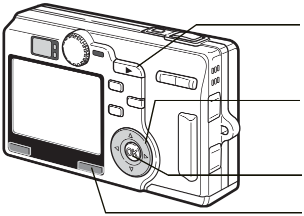
5　▶再生ボタンを押す

ボイスレコーディングモードに切り替わります。

メモ　撮影モードから再生モードに入ったときは、手順5で撮影モードに切り替わります。（☞p.33）

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。



1　再生モードにする

2　十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選び、Fnボタンを押す

3　十字キー（◀）を押す

撮影した画像とボイスメモを開始するための画面が表示されます。

4　OKボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。最長30秒録音することができます。

5　OKボタンを押す

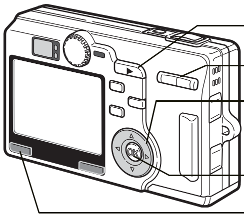
ボイスメモの録音が終了します。

メモ
- ボイスメモを付けると、画面に♫が表示されます。
- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.118）

注意
プロテクト（O‑π）されている画像は、ボイスメモを付けることはできません。

画像を再生する

SDメモリーカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。



静止画を再生する

▶再生ボタンを押します。
操作方法は「画像を再生する」(p.29)「前後の画像を再生する」(p.29)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大4倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。(拡大倍率は記録サイズにより異なります)

1 再生モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す

画面が大きく(1倍～4倍)表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

- **拡大表示中にできる操作**

十字キー(▲▼◀▶)	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン(♠)	画像を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン(♠♠♠)	画像を小さくする

3 OKボタンを押す

拡大再生が終了します。

注意 動画、音声、回転している静止画は拡大表示できません。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズーム/▣/🔍ボタンを1回押しただけで、画像を最大倍率まで拡大できます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

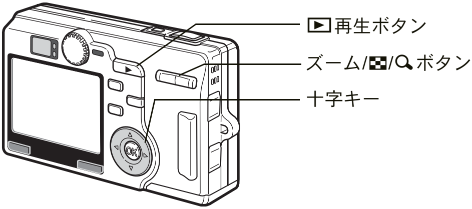
2　十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

オン：ズーム/▣/🔍ボタンの🔍を1回押すと、最大倍率まで拡大する。
オフ：ズーム/▣/🔍ボタンの🔍を1回押すと、1段階ずつ拡大する。

4　OKボタンを押す

再生モードに戻ります。



動画を再生する

動画を再生します（音声も同時に再生されます）。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示され、再生、コマ送り（コマ戻し）再生、一時停止、音量調節などができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
ズームボタン♠♠♠/♠	音量を調整する

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4　▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

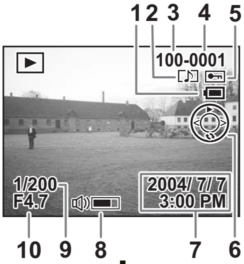
撮影時の情報を表示する

再生モード時にOKボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

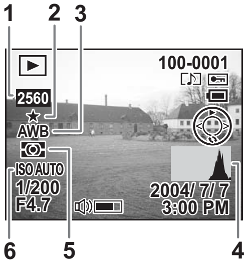
1	バッテリー残量表示	**2**	ボイスメモマーク
3	フォルダ名	**4**	ファイル名
5	プロテクトマーク	**6**	十字キー操作ガイド
7	撮影日時	**8**	音量
9	シャッター速度	**10**	絞り値



ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1	記録サイズ	**2**	画質
3	ホワイトバランス	**4**	ヒストグラム
5	測光方式	**6**	感度

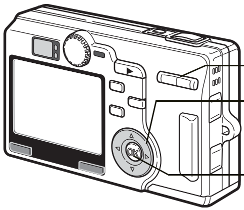


情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

液晶モニタの表示モードを保存する☞p.104



9画像ずつ表示する

撮った画像を液晶モニタに同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

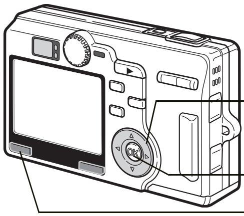
2　ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞/⊞を押す

画像が小さなコマで9コマずつ表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で選択します。10以上の画像が記録されている場合、上段のいずれかの画像を選択しているときに十字キー（▲）を押すと前の 9 画像が表示され、下段のいずれかの画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと次の 9 画像が表示されます。

3　ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞/⊞を押す

選択した画像が全画面表示されます。

メモ　OKボタン、ズーム/⊞/🔍ボタンを押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。



スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

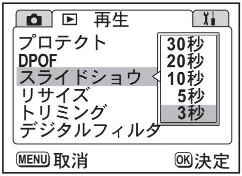
2　MENUボタンを押す

SIMPLEメニューまたは「▶再生」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「スライドショウ」を選び、十字キー（▶）を押す

4　十字キー（▲▼）で再生間隔を選ぶ

再生間隔は3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

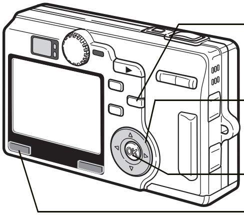


5　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した時間間隔でスライドショウが始まります。
OKボタン、MENUボタンなど、どれかのボタンを押すと、「ストップ」と表示され、スライドショウが停止します。

メモ
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画およびボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコディングモードで録音した音声は、再生されません。

画像・動画・音声を消去する



1画像・音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。(☞p.121)

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・音声を選ぶ

2　ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

表示されている画像が消去されます。

メモ
- 画像の消去は、クイックビュー（p.98）で画像表示中に行なうこともできます。
- プロテクト（O-π）されている画像は、消去できません。
- 「▶再生」メニューの「クイック消去」をオンに設定すると、手順3の操作を省略することができます。(☞p.118)
- 画像を消去するとその次の画像が表示されます。ただし最後に撮影した画像を消去すると、その前の画像が表示されます。

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2　✿▲/🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

メモ　画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、消去画面が表示されたとき、「消去」が選択された状態になり、消去手順が簡単になります。

1　再生モードでMENUボタンを押す

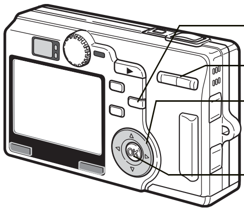
「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「クイック消去」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

4　OKボタンを押す

再生できる状態になります。



選択して消去する

撮った画像・音声を液晶モニタに同時に9枚ずつ表示しているとき、画像を選択して消去することができます。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像・音声は消去できません。（☞p.121）

1 再生モードに入り、ズーム/⊞/🔍ボタンの⫶⫶⫶/⊞を押す

画像が小さなコマで9コマずつ表示されます。

2 🌷▲/🗑ボタンを押す

消去画像選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）を押して、消去する画像を選択する

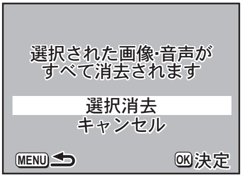
4 OKボタンを押す

選択した画像のチェックボックスにチェックが入ります。
手順3と4を繰り返し、消去する画像を選択してください。

5 🌷▲/🗑ボタンを押す

選択消去画面が表示されます。

6 十字キー（▲）で「選択消去」を選ぶ

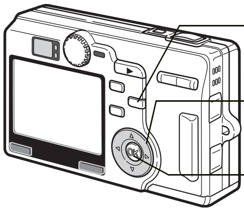


7 OKボタンを押す

選択した画像・音声が削除されます。

メモ
画像を選択消去すると、残った画像がファイルNo.が小さい順に表示され、その中でファイルNo.が最も小さい画像が選択されます。

6 再生・消去・画像編集



まとめて消去する

保存されている全画像・音声を消去します。

注意
- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像・音声は消去できません。（☞p.121）

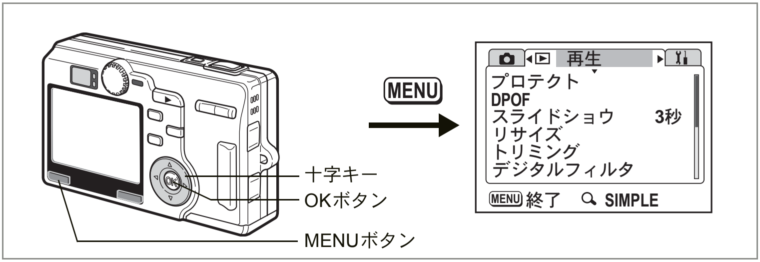
1 再生モードに入り、/ボタンを2回押す

全画像・音声消去画面が表示されます。

2 十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3 OKボタンを押す

全画像・音声が消去されます。



消去できないようにする（プロテクト）

画像・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「プロテクト」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

プロテクト画像選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）で「プロテクト」する画像または音声を選ぶ

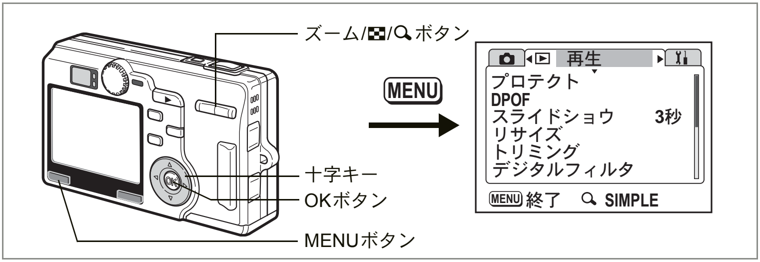
5　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

「解除」を選ぶとプロテクトが解除されます。

6　OKボタンを押す

画像または音声に🔑が表示されます。

メモ
- Fnボタンを使うと、簡単にプロテクト設定画面を表示できます。（☞p.151）



すべての画像と音声をプロテクトするには

すべての画像と音声をプロテクトすることができます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「プロテクト」を選び、十字キー（▶）を押す

プロテクト画像選択画面が表示されます。

3　ズーム/⊞/🔍ボタンを押す

全画像プロテクト画面が表示されます。

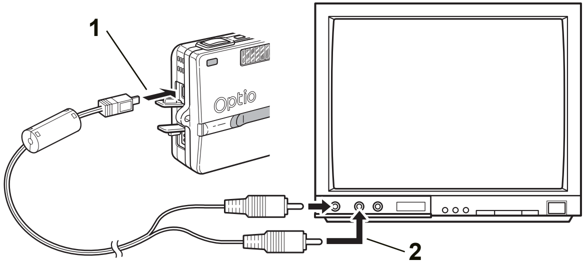
4　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

5　OKボタンを押す

メモ　手順4で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

注意　SDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像や音声も消去されます。

テレビで画像を見る



AVケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。なお、ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、AVケーブルを接続する

2　AVケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3　テレビとカメラの電源を入れる

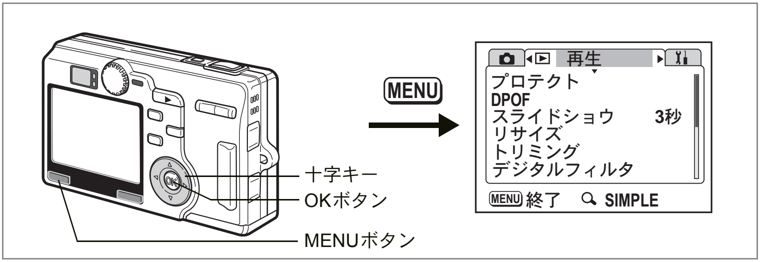
ビデオの出力方式を切り替える☞p.149

メモ

長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SD メモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

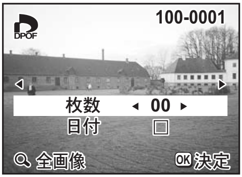
1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「DPOF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

DPOF設定画面が表示されます。



4　十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。

5　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

6　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

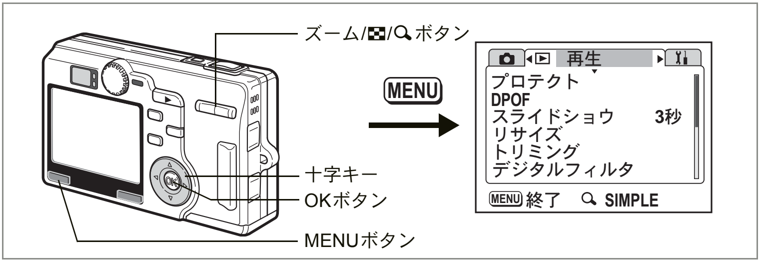
☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

7　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

メモ
- Fnボタンを使うと、簡単にDPOF設定画面を表示できます。(☞p.151)
- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。

注意
- 動画や音声のみのファイルには、DPOFを設定することはできません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンタと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。



全画像を設定する

1　再生モードでMENUボタンを押す

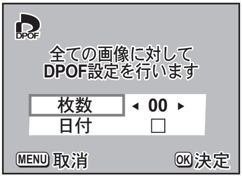
「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「DPOF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

DPOF設定画面が表示されます。

4　ズーム/⊞/🔍ボタンの🌷/🔍を押す



5　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7　十字キー（◀▶）で日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れます。
□ ：プリントに日付を入れません。

8　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

注意

- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 設定されたプリント枚数が 500 枚以上になる場合、カメラを直接PictBridge対応のプリンタと接続してプリントするときに、正しくプリントされないことがあります。

メモ

- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画や音声のみのファイルには、DPOFを設定することはできません。

カメラを直接プリンタにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB17）で、カメラをPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定します。

注意

- カメラをプリンタに接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（用紙サイズ、DPOFの設定など）が一部しか反映されないことがあります。

カメラをプリンタに接続する

1　「詳細設定」メニューの「USB接続」で を選ぶ

☞「USB接続モードを変更する」（p.149）

2　カメラを付属のUSBケーブルでプリンタに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

メモ

カメラとプリンタを接続しているときに、プリンタの設定を変えると（外付けのカートリッジを付けるなど）、PictBridgeメニュー画面に戻ることがあります。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1 画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

5　Fnボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

プリンタが日付印字未対応の場合、Fnボタンを押しても変更されません。

6　OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。印刷内容がそのままでよければ手順7に進んでください。印刷内容を変更するときは、「用紙サイズを設定する」（p.131）に進んでください。

7　OKボタンを押す

印刷を開始します。印刷が終了してからOKボタンを押すと手順3の画面に戻り、続けてプリントすることができます。MENUボタンを押すと、PictBridgeを終了します。

全画像をプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「全画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。

3　十字キー（▲▼）を押して各画像をプリントする枚数を選ぶ

何枚ずつプリントするかを選びます。

4　Fnボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

プリンタが日付印字未対応の場合、Fnボタンを押しても変更されません。

5　OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。印刷内容がそのままでよければ手順6に進んでください。印刷内容を変更するときは、「用紙サイズを設定する」（p.131）に進んでください。

6　OKボタンを押す

印刷を開始します。印刷が終了してからOKボタンを押すと手順2の画面に戻り、続けてプリントすることができます。MENUボタンを押すと、印刷を終了します。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。印刷内容がそのままでよければ手順4に進んでください。印刷内容を変更するときは、「用紙サイズを設定する」（p.131）に進んでください。

4　OKボタンを押す

印刷を開始します。印刷が終了してからOKボタンを押すと手順2の画面に戻り、続けてプリントすることができます。MENUボタンを押すと、印刷を終了します。

用紙サイズを設定する

1　Fnボタンを押す

用紙サイズ選択画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して用紙サイズを選ぶ

3　OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。

4　OKボタンを押す

印刷を開始します。印刷が終了してからOKボタンを押すと手順3の画面に戻り、続けてプリントすることができます。MENUボタンを押すと、印刷を終了します。

注意　白で表示されている用紙サイズのみ設定できます。灰色で表示されている用紙サイズはカメラやプリンタに印刷する機能がありません。

プリンタからカメラを取り外す

プリントが終了したら、カメラをプリンタから取り外します。

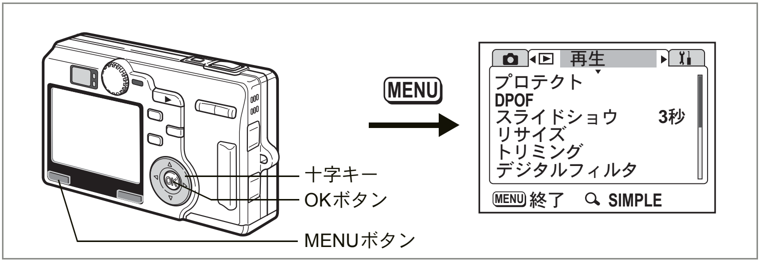
1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンタからUSBケーブルを取り外す

メモ　「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されているときにMENUボタンを押すと、「USBケーブルを取外しできます」とメッセージが表示されます。カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に電源が切れます。

画像を編集する



画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。カードがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、撮影を続けることができます。

サイズや画質を変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

リサイズ画像の選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

サイズと画質の選択画面が表示されます。

6　十字キー（▶）を押す

7 十字キー（▲▼）で記録サイズを選び、OKボタンを押す

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

9 十字キー（▶）を押す

10 十字キー（▲▼）で画質を選び、OKボタンを押す

11 OKボタンを押す

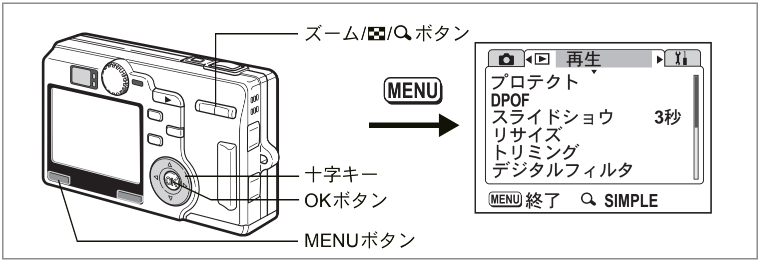
12 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

13 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

メモ

- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。



画像をトリミングする

画像の一部分を切り取って、別の画像として保存します。

1　再生モードでMENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

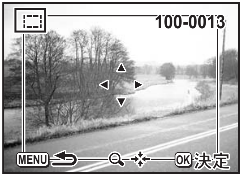
3　十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。



6　トリミングする

- **トリミング画面でできる操作**

ズーム/▣/🔍ボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

7　OKボタンを押す

8　十字キー（▶）を押す

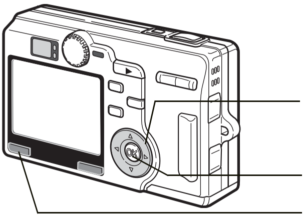
9　十字キー（▲▼）でトリミング後の画質を選び、OKボタンを押す

10 OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。

メモ

- 動画はトリミングできません。
- 画像サイズは変更されて保存されます。



デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタ、イラストフィルタ、スリムフィルタ、ソフトフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。

● 色フィルタ
色フィルタには、白黒、セピア、21色の単色、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の合成色があります。色フィルタを選択すると、液晶モニタにそれぞれの色フィルタの色味がかかった画像が表示され、その色で画像が保存されます。

● イラストフィルタ
イラストフィルタを使用すると、イラストのような写真が撮影できます。

● ソフトフィルタ
ソフトフィルタを使用すると、画像をソフトな調子に仕上げて保存できます。

● スリムフィルタ
スリムフィルタを使用すると、被写体を縦や横にひきのばすことができます。

デジタルフィルタを使って編集する

1　再生モードで、MENUボタンを押す

「▶再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

4　十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

5　十字キー（▲▼）を押して、デジタルフィルタを選ぶ

フィルタがかかった画像が表示されます。ここでは白黒フィルタがかかった例を示しています。

カラーフィルタ、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青を選ぶ場合「単色フィルタ/白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青を設定する」に、スリムフィルタを選ぶ場合「スリムフィルタを設定する」に進んでください。

6　OKボタンを押す

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存され、撮影または再生できる状態になります。

単色フィルタ/白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青フィルタを設定する

6　十字キー（◀▶）を押して、色を設定する

7　OKボタンを押す

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存され、撮影または再生できる状態になります。

スリムフィルタを設定する

6　十字キー（◀▶）を押して、スリム度を設定する

7　OKボタンを押す

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存され、撮影または再生できる状態になります。

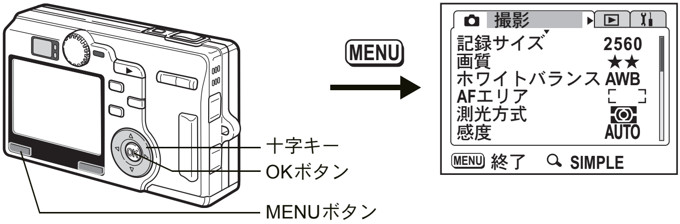
メモ　Fnボタンを使うと、簡単にDPOF設定画面を表示できます。（☞p.151）

注意　3Dモードまたはパノラマアシストモードで撮影した画像にはスリムフィルタは使用できません。

メモ

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。

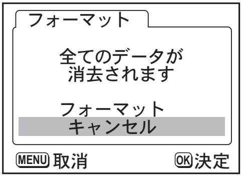
注意

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 SIMPLEメニューまたは「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。



3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

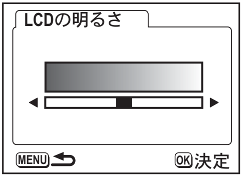
液晶モニタの明るさを設定する

液晶モニタの明るさを設定できます。

1　**「詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ**

2　**十字キー（▶）を押す**

LCDの明るさ調整画面が表示されます。



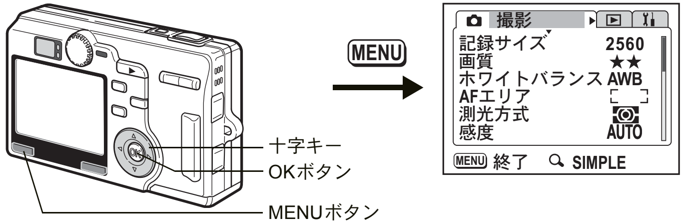
3　**液晶モニタを見ながら、十字キー（◀▶）で明るさを調整する**

バーのスライダーが左に移動すると暗くなり、右に移動すると明るくなります。

4　**MENUボタンを押す**

撮影または再生できる状態になります。

「🔧詳細設定」メニューの呼び出しかた

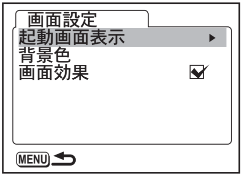


起動画面／背景色／画面効果を変更する

1 「🔧詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。



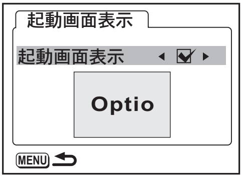
起動画面を変更する

カメラの電源を入れたときに起動画面として表示させる画像を設定します。

3 十字キー（▲▼）で「起動画面表示」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

起動画面表示画面が表示されます。



5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

☑：起動画面を表示します。
□：起動画面を表示しません。

6 十字キー（▼）を押す

7 十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

8 MENUボタンを3回押す

撮影または再生できる状態になります。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードをフォーマットしても消去されません。消去する場合は設定をリセットしてください。（☞p.153）
- 撮影した画像は、すべて起動画面として設定できます。
- USERおよびSIMPLEモードでは独自の背景色を使用するため、背景色は変更できません。

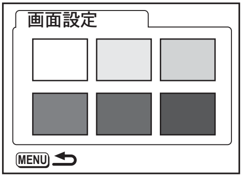
背景色を変更する

液晶モニタに表示されるメニューの背景のデザインおよび色を設定します。

3　十字キー（▲▼）で「背景色」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

背景色画面が表示されます。



5　十字キー（▲▼◀▶）で背景色を選ぶ

メニューの背景色が変わります。

6　MENUボタンを3回押す

撮影または再生できる状態になります

画面効果機能

☑（オン）を選ぶと液晶モニタの表示を切り替えるときにアニメーション効果で表示させることができます。

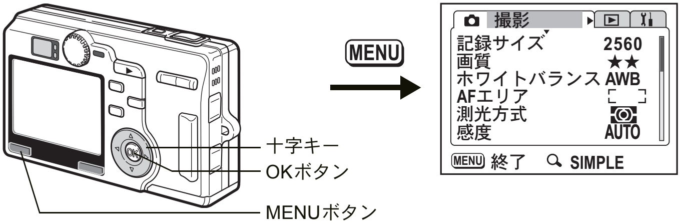
3　十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

5　MENUボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



サウンドの設定を変更する

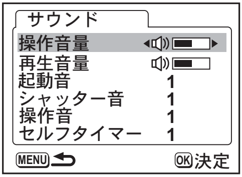
録音した音声や操作音（起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音）の音量を変更します。また操作音の音の種類を変更することもできます。

1　SIMPLE メニューまたは「詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。

操作音量と再生音量を変更する



3　十字キー（▲▼）を押して「操作音量」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

5　「再生音量」も同様に切り替える

6　MENUボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の種類を変更する

7 十字キー（▼）を押して「起動音」を選び、十字キー（▶）を押す

8 十字キー(▲▼)で「オフ」「1」「2」「3」のいずれかを選び、OKボタンを押す

9 「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も同様に切り替える

10 MENUボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ　サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示スタイルを設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

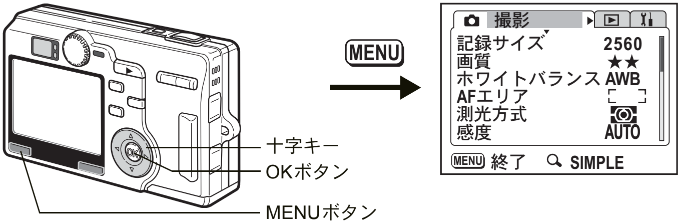
1 SIMPLEメニューまたは「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」(p.24)をご覧ください。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」(p.24)で設定した日時は、「現在地」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時を表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

☑：目的地で選択した国・地域の時刻表示になります。
□：現在地で選択した国・地域の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押して、✈（目的地）を選び、十字キー（▶）を押す

目的地設定画面が表示されます。地図が選択され、地図の左右に◀▶が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で地域を選び、十字キー（▼）を押す

6 十字キー（◀▶）で都市を選び、十字キー（▼）を押す

7 十字キー（◀▶）で「夏時間」の☑（オン）／□（オフ）を切り替え、OKボタンを押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。

8 十字キー（▼）を押して ⌂（現在地）を選び、十字キー（▶）を押す

手順5～7の操作を繰り返し、「地域」「都市」「夏時間」を設定してください。

9 MENUボタンを2回押す

設定した都市の日時で、撮影または再生できる状態になります。

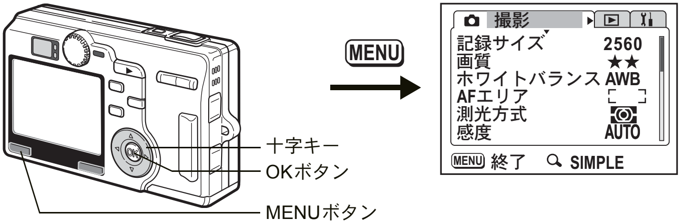
メモ

- ✈ と ⌂ の対象地域の初期設定は東京です。選択できる地域と都市についてはp.154をご覧ください。
- 目的地および現在地設定画面の右下に、選択されている都市の時刻が表示されます。
- 目的地設定画面の「夏時間」の右に現在地との時差が表示されます。
- ワールドタイムを設定するとき、地図上の記号は以下の情報を表します。

記号	ワールドタイム設定画面		目的地設定画面	現在地設定画面
	☑（オン）	□（オフ）		
●	目的地 （⌂選択中は現在地）	非表示 （✈選択中は目的地、 ⌂選択中は現在地）	選択している都市	選択している都市
✚	現在地 （⌂選択中は目的地）	–	–	–
○	–	–	選択可能な都市	選択可能な都市

7 設定

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



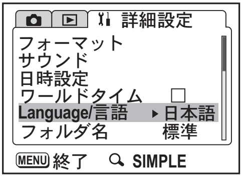
表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Language/言語画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で言語を選ぶ

4 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

フォルダ名を設定する

画像などを保存するフォルダ名の付け方を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「フォルダ名」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）でフォルダ名のつけ方を切り替える

標準： 100から999までの数字をフォルダ名につけます。（例：100PENTX）

日付： 100から999までの数字のうしろに日付を組み合わせてフォルダ名をつけます。(例:100_0425(日時設定が4月25日の場合))

3 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニタするテレビの出力方式に合わせて選択します。

3 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ
- 日本国内では、NTSC方式です。
- ビデオ出力をどちらに設定しても、画像はカメラとビデオの両方に表示されます。

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンタ（）か、パソコン（PC）かによって、USB接続モードを切り替えます。

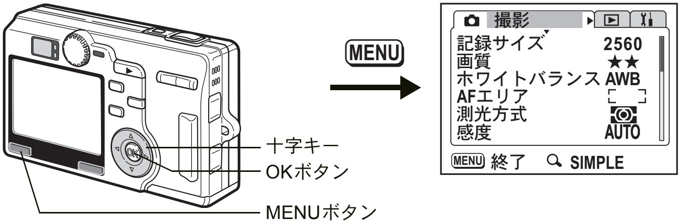
1 「詳細設定」メニューの「USB 接続」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）で「PC」「」を切り替える

3 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

パソコンまたはプリンタに接続できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた



スリープを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定します。何か操作を行うと、スリープは解除されます。

1 「詳細設定」メニューの「スリープ」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）で「オフ」「30秒」「1分」「2分」のいずれかを選ぶ

3 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ　スライドショウで再生しているときや、USB接続しているときはスリープは働きません。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）で「オフ」「3分」「5分」を切り替える

3 OKボタンを押したあと、MENUボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ　USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

よく使う機能（ファンクション機能）を設定する

よく使う機能を十字キーに登録します。撮影時や再生時に、メニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。撮影モードでFULLメニュー表示時によく使う機能は好みに応じて登録できます。撮影モードでSIMPLEメニュー表示時と再生時によく使う機能はあらかじめ登録されています。

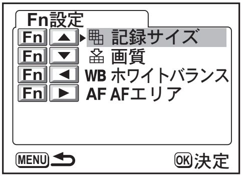
撮影モード（FULLメニュー表示）でよく使う機能を登録する

1 「詳細設定」メニューの「Fn設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Fn設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）を押して登録するキーを選ぶ



4 十字キー（▶）を押して、登録する機能を表示する

5 十字キー（▲▼）を押して登録する機能を選ぶ

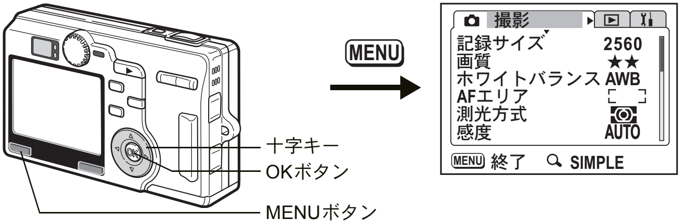
6 OKボタンを押したあと、MENUボタンを2回押す

選んだ機能が登録され、撮影できる状態になります。

メモ

- 初期設定では、▲に記録サイズ、▼に画質、◀にホワイトバランス、▶にAFエリアが登録されています。
- 各キーに登録することができる機能は1つのみです。
- 登録できるのは記録サイズ、画質、ホワイトバランス、AFエリア、測光方式、感度、早送り動画、クイックビュー、M、シャープネス、彩度、コントラストの12機能です。

「Y詳細設定」メニューの呼び出しかた



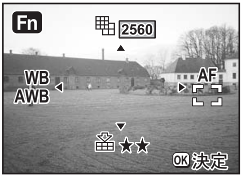
撮影モード（SIMPLEメニュー表示）と再生モードに登録されている機能

撮影モード （SIMPLEメニュー表示時）	画像設定
再生モード	▲ プロテクト　▼ DPOF ◀ ボイスメモ　▶ デジタルフィルタ

機能を呼び出す

1　Fnボタンを押す

撮影モード（FULLメニュー表示）と再生モードの場合：
十字キー（▲▼◀▶）に登録されている機能が表示されます。
撮影モード（SIMPLEメニュー表示）の場合：
画像設定画面が表示されます。



2　設定したい機能を登録した十字キー（▲▼◀▶）を押す

十字キー（▲▼）に登録した機能を設定する場合：
十字キー（◀▶）で設定を変更します。
十字キー（◀▶）に登録した機能を設定する場合：
十字キー（▲▼）で設定を変更します。
撮影モード（SIMPLEメニュー表示）の場合：
十字キー（◀▶）で設定を変更します。

3　選択したい設定内容が表示されたらOKボタンを押す

7
設定

パノラマアシストモードと3Dモードの2枚目以降の撮影では、設定を変更できません。

再生モードでFn機能を使用するとき、次のファイルは選択できない機能があります。

動画	デジタルフィルタ、DPOF、ボイスメモが選択できません。
ボイスメモ付き静止画	ボイスメモが選択できません。
プロテクトされている静止画	デジタルフィルタ（上書き保存の場合）とボイスメモが選択できません。
3Dモード、パノラマモードで撮影された画像	デジタルフィルタのスリムモードが選択できません。
壊れているファイル	Fn機能は使用できません。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

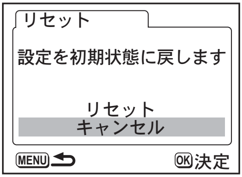
2 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



7 設定

付録

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市名です。

地域	都市名
北米	ホノルル
	アンカレジ
	バンクーバー
	サンフランシスコ
	ロサンゼルス
	カルガリー
	デンバー
	シカゴ
	マイアミ
	トロント
	ニューヨーク
	ハリファックス
南米	メキシコシティ
	リマ
	サンティアゴ
	カラカス
	ブエノスアイレス
	サンパウロ
	リオデジャネイロ
ヨーロッパ	マドリッド
	ロンドン
	パリ
	ミラノ
	ローマ
	ベルリン
	アテネ
	ヘルシンキ
	モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール
	アルジェ
	ヨハネスブルグ
	イスタンブール
	カイロ
	エルサレム

地域	都市名
	ナイロビ
	ジッダ
	テヘラン
	ドバイ
	カラチ
	カブール
	マーレ
	デリー
	コロンボ
	カトマンズ
	ダッカ
東アジア	ヤンゴン
	バンコク
	クアラルンプール
	ビエンチャン
	シンガポール
	プノンペン
	ホーチミン
	ジャカルタ
	香港
	北京
	上海
	マニラ
	台北
	ソウル
	東京
	グアム
オセアニア	パース
	アデレード
	シドニー
	ヌーメア
	ウェリントン
	オークランド
	パゴパゴ

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC8J

USBケーブル I-USB17（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

カメラケース O-CC23

ストラップ O-ST20（※）

ストラップ O-ST24

リモートコントロールE（ズームボタン対応）

リモートコントロールF

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）

バッテリー充電スタンド D-BC23（※）

バッテリー充電器キット K-BC8J

3Dイメージビュワー O-3DV1

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。
画像・音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像が保存されていません。
カード空き容量なし	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.21、117) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.132)
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.140)
カードが入っていません	SDメモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしました。電源を切ってカードを入れてください。
カードがロックされています	ロックされたSDメモリーカードが装着されています。メニュー操作、モード切り替えだけができます。
記録中です	画像をSDメモリーカードに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
この画像音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
消去中です	画像を消去しています。
バッテリー容量が無くなりました 画像を保存できませんでした	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。(p.14)
フォーマット中	SDメモリーカードをフォーマット中です。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。(p.140)

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンタの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンタのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンタでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンタからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンタで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。バッテリーの▲マークをカメラの液晶モニタ側に向けて入れなおしてください。（p.14）
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーをセットしてください。または、ACアダプタキット（別売）を使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	OKボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。（p.82）
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカードに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.21、117）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.81）

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の〔　　〕（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、 AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを または （スーパーマクロ）にセットしてください。（p.85）
	フォーカスモードが または （スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが または （スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは に設定してください。（p.84）
	撮影モードが にセットされているか、連続撮影、スーパーマクロまたは遠景モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

8

付録

主な仕様

カメラ本体

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	500万画素	
撮像素子	総画素数536万画素 原色フィルタ／インターライントランスファー 1/2.5型CCD	
記録画素数	静止画	2560×1920ピクセル、2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル
感度	オート、マニュアル（50/100/200/400：標準出力感度）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、ストリーミング記録、約30フレーム／秒、音声あり
	音声	WAV（ADPCM方式）、モノラル、最大録音可能時間 262分（64MBのSDメモリーカード使用時）
画質	静止画	S.ファイン、ファイン、エコノミー
記録媒体	SDメモリーカード	

撮影枚数（64MBのSDメモリーカードを使用した場合）

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	動画 （320×240）
2560×1920	約42枚	約66枚	約93枚	約158秒
2048×1536	約61枚	約95枚	約132枚	
1600×1200	約81枚	約127枚	約174枚	
1024×768	約132枚	約202枚	約274枚	
640×480	約192枚	約295枚	約349枚	

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.8mm～29mm （35mmフィルム換算：36～180mm相当）
	最大F値	F2.8～F4.7
	レンズ構成	8群10枚（片面非球面レンズ2枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約32.5mm×約43.4mmを画面一杯に撮影可能 （スーパーマクロモード）
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム	撮影・再生時	最大約4倍（光学5倍ズームと合わせ、最大約20倍相当のズーム倍率）
ファインダー	方式	実像式光学ズームファインダー
	倍率	ワイド0.37×、テレ1.55×
液晶モニタ	1.8型TFTカラー LCD（バックライト付）、約11.8万画素、視野率約100％	

再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大4倍）、スクロール、回転表示、音声、スライドショウ、動画再生、ヒストグラム表示、トリミング、リサイズ	
	デジタルフィルタ	白黒、セピア、カラー（21段階）、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青、イラスト、スリム、ソフト
オートフォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 5点AF（マルチ／スポットAF切替可）
	撮影範囲 （レンズ前面から）	ノーマル：0.6m～∞（ズーム全域） マクロ：0.12m～0.7m（ワイドから光学ズーム約2.24倍まで） スーパーマクロ：0.03m～0.14m（ワイド端のみ） フォーカスリミットOFF：0.12m～∞（ズーム全域） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.03m～∞（ワイド端）、0.6m～∞（テレ端）	
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出モード	マニュアル、シャッター優先、絞り優先、プログラム、ピクチャーモード
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	オートブラケット	露出、ホワイトバランス、シャープネス、彩度、コントラスト
撮影モード	プログラム、ピクチャー、夜景、動画、ボイスレコーディング、ユーザー、マニュアル	
	ピクチャーモード	風景、花、ポートレート、セルフポートレート、スポーツ、サーフ＆スノー、紅葉、夕景、美術館、料理、3D、パノラマ
動画	撮影時間	約1秒～メモリーカード容量いっぱいまで
	早送り動画	フレームレートを（×2、×5、×10、×20）
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	F2.8～F5.0（F5.0は含まない） 約1/1000秒～約4秒 F5.0～F8.0（F5.0を含む） 約1/2000秒～約4秒 （マニュアル露出モード、シャッター優先モード、絞り優先モード時は1/1000秒～、1/4秒より長秒時にノイズリダクション）
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	調光補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	撮影範囲	ワイド 約0.12m～約4.2m （5.8mm・標準出力感度200の時） テレ 約0.6m～約2.5m （29mm・標準出力感度200の時）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影、オートブラケット、インターバル撮影	
時計機能	ワールドタイム設定、世界68都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8、ACアダプタキット（別売）	

バッテリー寿命	約100枚	（液晶モニタオン、ストロボ使用率50％、23℃、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8を使用した場合） ※撮影可能枚数はCIPA規格の撮影条件による目安です。
最大充電時間	約100分	
入出力ポート	USB 2.0ハイスピード／AV端子、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL（モノラル音声）	
PictBridge	対応プリンタ	“PictBridge”対応のプリンタ
	印刷モード	全画像印刷、1画像印刷、DPOF印刷、 用紙サイズ設定
大きさ	91.5（幅）×56（高）×28（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）	
質量	150 g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	165 g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電スタンド、ACコード、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM)、AVケーブル、ストラップ、使用説明書、使用説明書（PC接続編)、保証書	
対応言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）	

電源

	バッテリー充電スタンドD-BC23	ACアダプタD-AC8（別売）
定格入力	AC100-240V（50Hz／60Hz）	AC100-240V（50Hz／60Hz）
定格出力	DC4.2V／630mA	DC4.5V／2A
外形寸法	99.5×85×25（mm）	90×43.5×26.5（mm）
質量	100g	122g

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）
インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/support/

索引

8 付録

8
付録

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター **ナビダイヤル 0570-001313**
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。☎03-3960-3200（代）

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間 午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間 午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[宅配便・郵便修理受付、修理に関するお問い合わせ]
ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**

〒 175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内

営業時間 午前 9：00 ～午後 5：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**

〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階

営業時間 午前 9：00 ～午後 5：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

PENTAX
for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57548
01-200506
Printed in Philippines